

# 岩手医科大学 健康管理センター一年報

～平成31年度／令和元年度～



岩手医科大学健康管理センター



## はじめに

岩手医科大学  
健康管理センター長  
石垣 泰

関係の皆様におかれましては、平素より健康管理センターの業務にご理解とご支援をいただきありがとうございますとございます。

2020年はCOVID-19感染拡大予防に終始した1年でした。そして、2021年を迎えた現在でも厳しい状況が続いております。

健康管理センターの活動として、病院移転を経た2020年の予定としては矢巾キャンパスと新病院を中心にした初めての試みが多かったのですが、コロナ禍のためにさらに様々な工夫や予定変更が求められました。例えば、新職員を対象にした入職時集団検診の中止、職員検診の延期、学生検診の延期・規模縮小など、数え上げればきりがありません。多くの事業で、密になることを回避しながら対応しましたが、これには広い会場の設定や期間の長期化をとめない、例年より多くのマンパワーを必要としました。大きなトラブルなく実施できたのは、看護部をはじめとする多くの職員の方々のご協力のおかげであることをあらためて御礼申し上げます。

2020年4月頃からは、学生・職員の感染予防対策の啓発と発熱状況を中心とした健康状態の把握が、新たな業務として大きなエフォートを占めるようになりました。特に7月に岩手県内で第1号感染者が確認されて以降は、感染の可能性が身近なものとなり、昼夜・週末を問わずに相談件数が増加しました。センターでは保健師を中心に対応を行ってきましたが、医療機関への受診勧奨や登校に関する助言など、初めて経験する数々の事案に対して試行錯誤してきました。また、コロナ禍における職員や学生のメンタルヘルスケアのために、臨床心理士を中心にリーフレットの配布や相談対応などの支援を行ってきました。

2021年も感染予防対策に重点を置いた学生生活や勤務状況が続くことでしょう。私たち健康管理センターは、危機対策本部や病院感染制御部からの指示や助言を受け、学内の各部署と協力しながら、学内の皆様が不安なく学業や勤務に従事できるよう力になればと考えています。検診や予防接種、精神衛生、環境衛生などに関する通常の業務とCOVID-19に関わる感染予防とその対応といった非常時のミッションを両立して進めていきますので、皆様の一層のご協力をお願いできればと思います。

# 目次

## 序文

はじめに：健康管理センター長 石垣 泰	1
---------------------	---

## I 平成31年度／令和元年度健康管理センター管理体制

1. 沿革	4
2. 組織図	5
3. 規程	6
4. 健康管理センタースタッフ、運営委員会委員	8
5. 健康管理センター体制	10
6. 各種委員会・会議開催状況	11
7. 健康管理センター各室	12

## II 平成31年度／令和元年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）	17
2. 学生健康管理実施状況	
1) 学生健康診断	18
2) 各種ワクチン接種	26
3) 心理検査	28
4) 禁煙対応	30
3. 職員健康管理実施状況	
1) 職員健康診断	
(1) 一般健康診断	40
(2) 特殊健康診断	44
(3) その他	46
2) 各種ワクチン接種	47
3) 長時間労働者への産業医による面接指導	51
4) ストレスチェック	52
5) 職場巡視	52
6) 針刺し粘膜曝露事故対応	53
7) 禁煙対応	55

## III 平成31年度／令和元年度健康管理センター利用状況

1. 健康相談	57
2. 健康相談利用状況の比較	58
3. 心理相談（健康管理センター相談室）	59
4. 心理相談利用状況の比較	60
5. 職場復帰支援	60

## IV 平成31年度／令和元年度メンタルヘルス支援

1. セミナー	62
2. メンタルヘルス講義	62
3. ラインケア研修	62
4. 教職員のための学生相談ハンドブック	63
5. 学生のインターネット使用状況調査	63
6. 新型コロナウイルス感染症に伴う対応	63
7. 研究	63

## V 平成31年度／令和元年度健康教育・啓発活動

1. 健康教育	65
2. 啓発活動	67

## VI 平成31年度／令和元年度学会・研修会

学会・研修会等参加状況	80
-------------	----

I 平成 31 年度／令和元年度  
健康管理センター管理体制

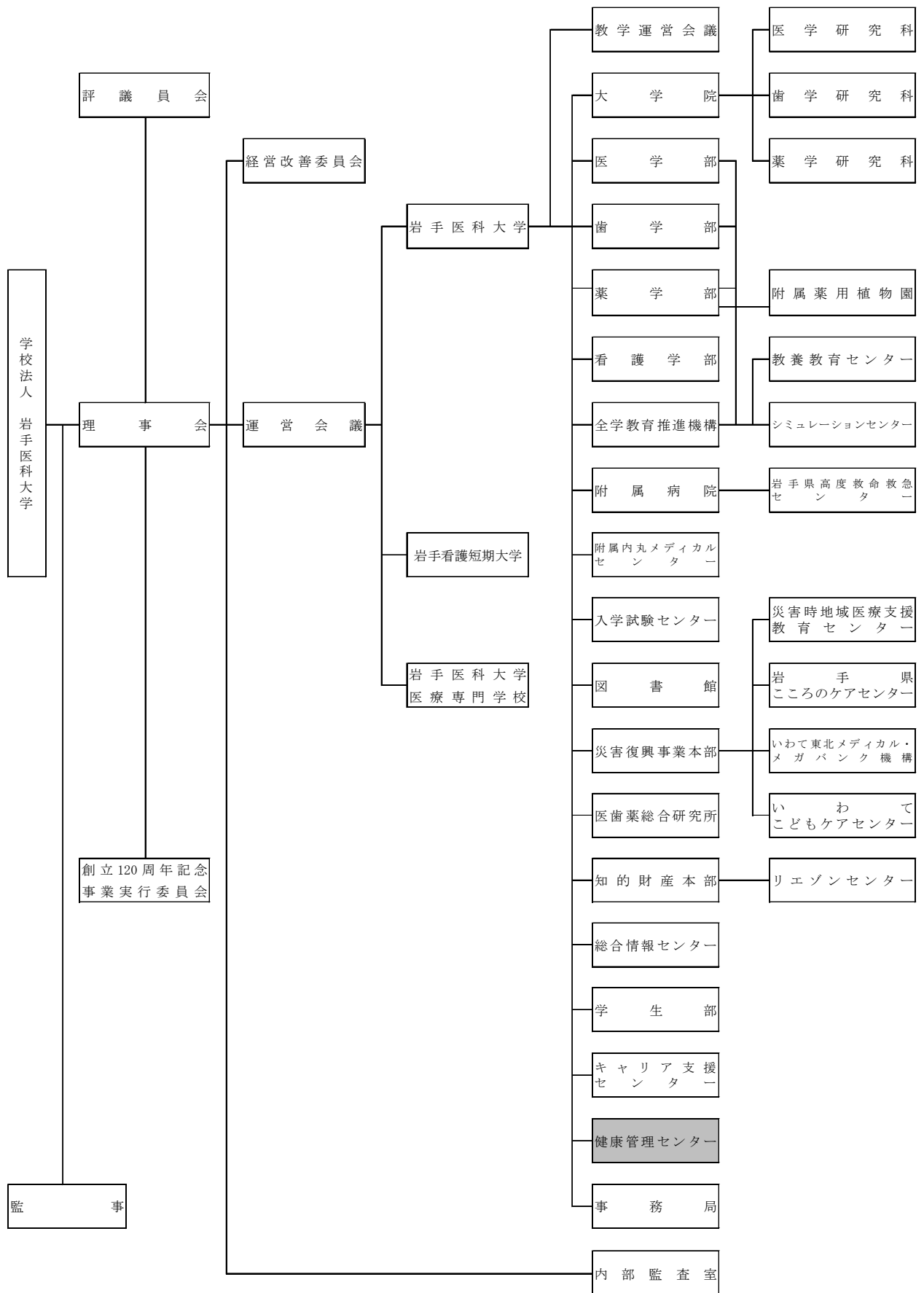


# I 平成31年度／令和元年度健康管理センター管理体制

## 1. 沿革

平成17年4月1日	健康管理センター設置 健康管理センター規程制定 鈴木一幸附属病院副院長が健康管理センター長兼務 健康管理センターが8号館1階に新設
平成18年6月1日	神経精神科学講座酒井明夫教授がセンター長就任
平成18年7月25日	健康管理センターだより創刊号発行
平成19年4月1日	矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設に伴い、矢巾キャンパスに健康管理センター設置 産業医規程、学校医規程、学生健康診断規程制定
平成19年10月29日	健康管理センターが現場所2号館2階に移転
平成20年6月1日	整形外科科学講座嶋村正教授がセンター長就任
平成22年4月1日	健康管理センター事務室設置
平成23年12月19日	外来診療棟3階に健康管理室（休養室）新設
平成24年4月1日	事務局組織機構図の一部改正に伴い、総務部健康管理センター事務室に改正
平成25年4月1日	眼科学講座黒坂大次郎教授がセンター長就任
平成26年7月22日	休養室が東病棟1階に移転
平成28年4月1日	内科学講座糖尿病・代謝内科分野石垣泰教授がセンター長就任
平成31年4月1日	事務局組織改編に伴い、健康管理センター事務室が総務課健康管理係に改称
令和元年9月24日	附属病院矢巾移転に伴い、内丸と矢巾の健康管理センターが矢巾に統合 健康管理相談室がトクタヴェール2階に新設

## 2. 組織図



### 3. 規程

#### 1) 岩手医科大学組織規程（抜粋）

##### 第8章健康管理センター

（健康管理センター）

第39条 本学に健康管理センターをおく。

- 2 健康管理センターにセンター長を置く。センター長は医学部臨床系教授の兼務とする。
- 3 必要により健康管理センターに副センター長を置くことができる。副センター長は医師の兼務とする。
- 4 センター長、副センター長は、学長が人事委員会に諮って選考し、理事会の議を経て理事長が任命する。その任期は3年とし再任を妨げない。
- 5 センター長は所属する職員を指導監督し、健康管理センターの管理運営にあたる。
- 6 副センター長はセンター長を補佐し、センター長に事故あるときはその職務を代理する。
- 7 健康管理センターに師長を置くことができる。
- 8 師長はセンター長、副センター長の指揮の下に所属職員を指導監督し、センターの円滑な管理運営にあたる。
- 9 必要により主任を置くことができる。
- 10 主任はセンター長、副センター長又は師長の命を受け、部下の職員の指導監督にあたる。
- 11 師長及び主任は、看護師、保健師又は臨床心理士の中から学長が人事委員会の意見を聞いて任命する。
- 12 健康管理センターの管理運営については、別に定める。

（センターの事務）

第39条の2 健康管理センターに健康管理センター事務室を設け、事務員をおくことができる。

- 2 健康管理センター事務室の事務分掌及び業務の処理については別に定める。

#### 2) 岩手医科大学健康管理センター規程

第1条 この規程は岩手医科大学組織規程第39条第12項に基づき、健康管理センターの管理運営について定める。

第2条 岩手医科大学等の学生、職員等の健康管理を一元的に行うため、健康管理センター（以下「センター」という。）を置く。

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 定期・臨時の健康診断に関すること。
- (2) 健康診断後の必要な指導に関すること。
- (3) 健康相談に関すること。
- (4) 精神衛生に関すること。
- (5) 環境衛生及び感染症の予防に関すること。
- (6) 学内保健計画の立案に関すること。
- (7) 急患に関する応急処置に関すること。
- (8) その他健康管理に関すること。

第4条 センターにセンター長（副センター長又は師長を置く場合には、それらを含む）の他に次の各号に掲げる職員を置く。ただし、兼務によることを妨げない。

- (1) 医師
- (2) 看護師
- (3) 保健師
- (4) 臨床心理士

第5条 センターの業務を円滑に実施するため、関連部署との連携に留意するものとし、特に感染症予防については感染症対策室と密接に連携を図るものとする。

第6条 センターに健康管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第7条 委員会は、センター長を委員長とし、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学生部長
- (2) 学生副部長
- (3) 病院長
- (4) 産業医
- (5) 学校医
- (6) 事務局長
- (7) 学務部長
- (8) 病院事務部長
- (9) 看護部長
- (10) 法人事務部長
- (11) 人事職員課長
- (12) 学事総務課長
- (13) 副センター長（但し、副センター長を置く場合に限る）
- (14) 健康管理センター師長（但し、師長を置く場合に限る）
- (15) その他委員会が必要と認める者

第8条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 学内保健計画に関する事項
- (2) 健康管理の維持改善に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認めた事項

2 委員会は、必要ある場合センター長が招集しその議長となる。

第9条 委員会の事務は健康管理センターが行う。

第10条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の審議を経て健康管理センター長が行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年2月10日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

#### 4. 健康管理センタースタッフ・運営委員会委員

##### センター長（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
初代	鈴木 一幸	内科学講座消化器・肝臓内科分野・教授（副院長）	平 17. 4. 1～平 18. 5. 31
二代	酒井 明夫	神経精神科学講座・教授	平 18. 6. 1～平 21. 5. 31
三代	嶋村 正	整形外科科学講座・教授	平 21. 6. 1～平 25. 3. 31
四代	黒坂大次郎	眼科学講座・教授	平 25. 4. 1～平 28. 3. 31
五代	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野・教授	平 28. 4. 1～

##### 副センター長

	氏名	所属・職名	期間
	西村 尚子	健康管理センター副センター長	平 17. 4. 1～平 21. 3. 31

##### 産業医（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
	小野田 敏行	衛生学公衆衛生学講座・准教授	平 13. 9. 1～平 26. 12. 31
	大間々 真一	救急・災害・総合医学講座救急医学分野・特任講師	平 23. 4. 1～
	近藤 ゆき子	薬理学講座情報伝達医学分野・講師	平 27. 1. 1～
	弘瀬 雅教	病態薬理学講座分子細胞薬理学講座・教授	平 27. 4. 1～

##### 学校医（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
	米澤 久司	内科学講座神経内科・老年科分野・講師	平 17. 4. 1～平 19. 3. 31
	石橋 靖宏	” ・講師	
	遠藤 昌樹	内科学講座消化器・肝臓内科分野・講師	平 19. 4. 1～平 21. 3. 31
	遠藤 龍人	” ・講師	
	蒔田 真司	内科学講座循環器・腎・内分泌内科分野・准教授	平 21. 4. 1～平 23. 3. 31
	田代 敦	” ・講師	
	小林 仁	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野・准教授	平 23. 4. 1～平 25. 3. 31
	鈴木 順	” ・講師	
	大塚 耕太郎	神経精神科学講座・講師	平 23. 4. 1～平 24. 3. 31
	山家 健仁	神経精神科学講座・助教	平 24. 4. 1～平 27. 3. 31
	工藤 雅子	内科学講座神経内科・老年科分野・講師	平 25. 4. 1～平 27. 3. 31
	金 正門	” ・特任講師	平 25. 4. 1～平 27. 3. 31
	中村 昌太郎	内科学講座消化器内科消化管分野・准教授	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	宮坂 昭生	内科学講座消化器内科肝臓分野・講師	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	星 克仁	神経精神科学講座・講師	平 27. 4. 1～平 31. 3. 31
	菅原 正磨	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野・助教	平 29. 4. 1～平 29. 9. 30
	房崎 哲也	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野・助教	平 29. 4. 1～平 31. 3. 31
	渡邊 収司	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野・助教	平 29. 10. 1～平 31. 3. 31
	秋山 真親	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野・助教	平 31. 4. 1～
	工藤 雅子	内科学講座神経内科・老年化分野・講師	
	山家 健仁	神経精神科学講座・特命講師	

健康管理センター運営委員会（平成 31 年 4 月 1 日現在）

区 分	氏 名	所属・職名
委員長	石垣 泰	健康管理センター長（内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野・教授）
委 員	増田 友之	学生部長（病理学講座機能病態学分野・教授）
〃	小原 航	学生副部長（泌尿器科学講座・教授）
〃	八重柏 隆	学生副部長（歯科保存学講座歯周療法学分野・教授）
〃	西谷 直之	学生副部長（臨床薬学講座情報薬科学分野・教授）
〃	末安 民生	学生副部長（地域包括ケア講座・教授）
〃	中島 理	学生副部長（教養教育センター化学科・教授）
〃	小笠原 邦昭	病院長（脳神経外科学講座・教授）
〃	近藤 ゆき子	産業医（薬理学講座情報伝達医学分野・講師）
〃	大間々 真一	産業医（岩手県高度救命救急センター・講師）
〃	弘瀬 雅教	産業医（病態薬理学講座分子細胞薬理学分野・教授）
〃	秋山 真親	学校医（内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野・助教）
〃	工藤 雅子	学校医（内科学講座神経内科・老年化分野・講師）
〃	山家 健仁	学校医（神経精神科学講座・特命講師）
〃	高橋 真	事務局長
〃	赤坂 昇治	学務部長
〃	塚澤 仁敏	病院事務部長
〃	吉田 秀樹	法人事務部長
〃	佐藤 悦子	看護部長
〃	長岡 慶介	人事職員課長
〃	澤田 幸司	学事総務課長

健康管理センタースタッフ（平成 31 年 4 月 1 日現在）

<内丸キャンパス>

職 名	氏 名	備 考
センター長（兼）	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野・教授 平 28. 4. 1～
保健師	藤井 ヌイ子	平 18. 4. 1～
〃	名郷根 郁子	平 22. 3. 30～
主任臨床心理士	畠山 秀樹	平 18. 4. 1～

<矢巾キャンパス>

職 名	氏 名	備 考
主任保健師	村山 美保	平 21. 11. 1～
保健師	小原 真綾	平 29. 4. 1～
〃	青木 雅美	平 30. 4. 1～
臨床心理士	氏家 真梨子	平 26. 4. 1～

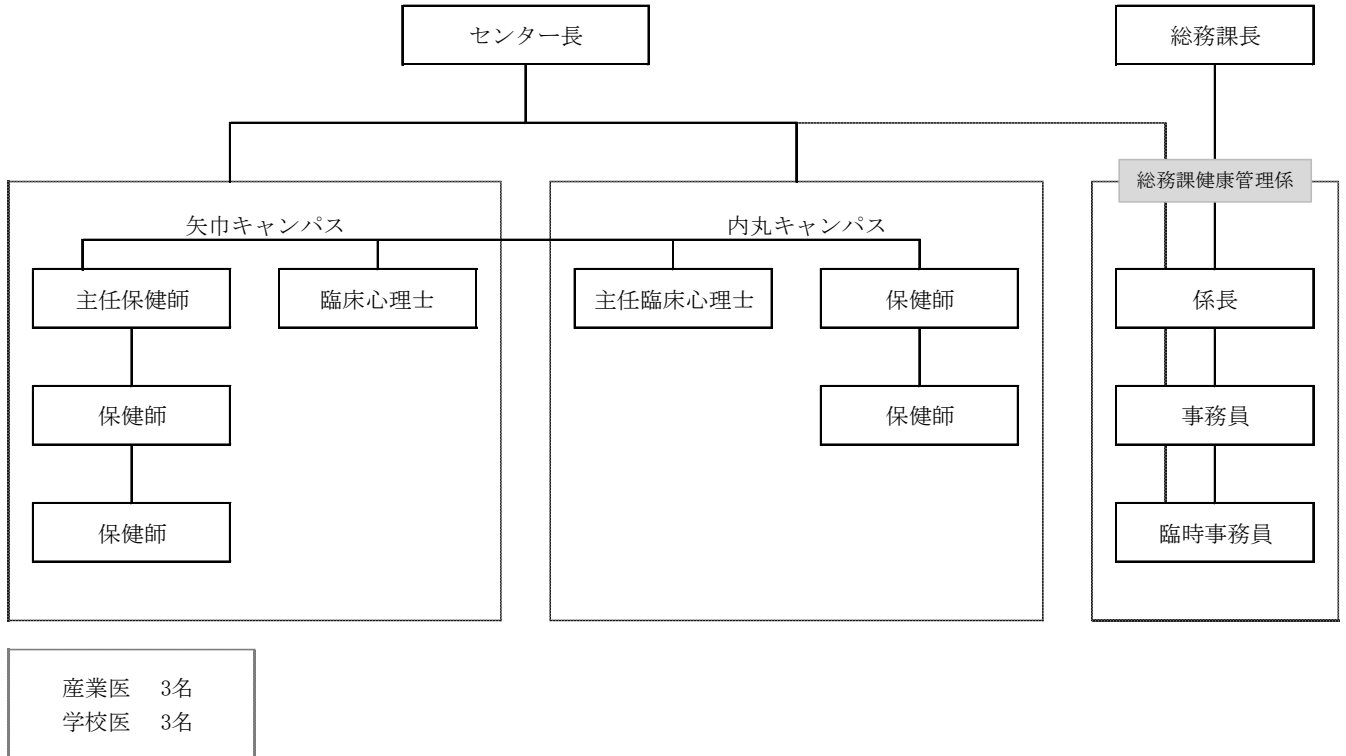
<総務課健康管理係>

職 名	氏 名	備 考
総務課長	寺館 武志	平 31. 4. 1～
係長	黒川 恵子	平 31. 4. 1～
事務員	渡辺 尚子	平 28. 1. 1～
臨時事務員	川畑 史江	平 28. 4. 1～

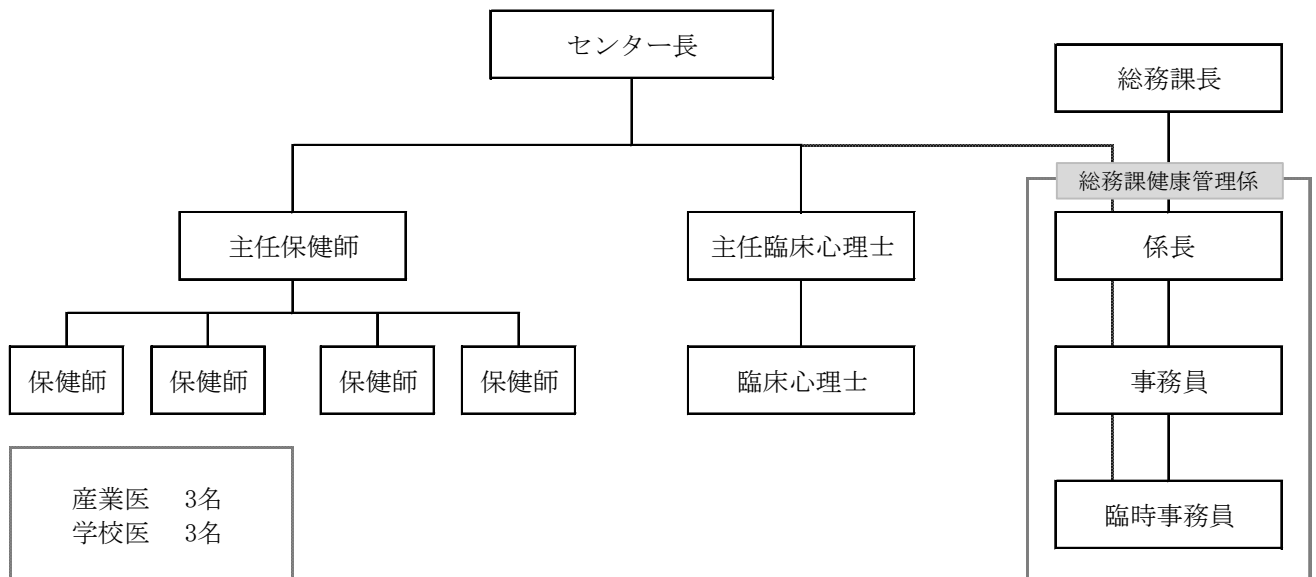
## 5. 健康管理センター体制

<平成31年度/令和元年度>

(1) 平成31年4月1日～令和元年9月23日



(2) 令和元年9月24日～



## 6. 各種委員会・会議開催状況

### 1) 健康管理センター運営委員会

第1回健康管理センター運営委員会

日時：令和元年7月23日（火）17：10～17：55

場所：医学部2号館3階大会議室（内丸）

東研究棟1階会議室（矢巾）

※TV会議

第2回健康管理センター運営委員会

日時：令和元年12月24日（火）16：00～16：40

場所：本部棟4階大会議室（矢巾）

歯学部4階会議室（内丸）

※TV会議

### 2) 健康管理センターミーティング

～令和元年9月

日時：毎月第三水曜日 11：10～

場所：内丸キャンパス健康管理センター

令和元年10月～

日時：毎月第二月曜日 10：00～

場所：矢巾キャンパス健康管理センター



## 7. 健康管理センター各室

【内丸キャンパス】（～令和元年9月23日）



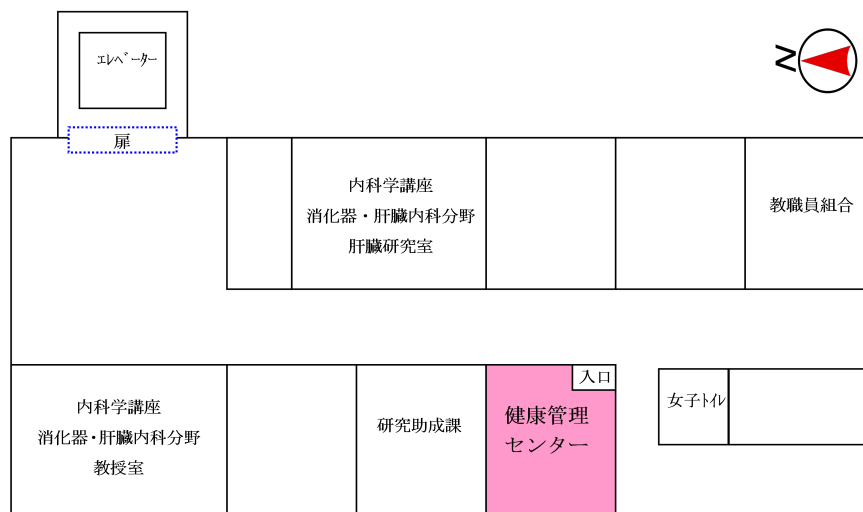
休養室



相談室



健康管理センター

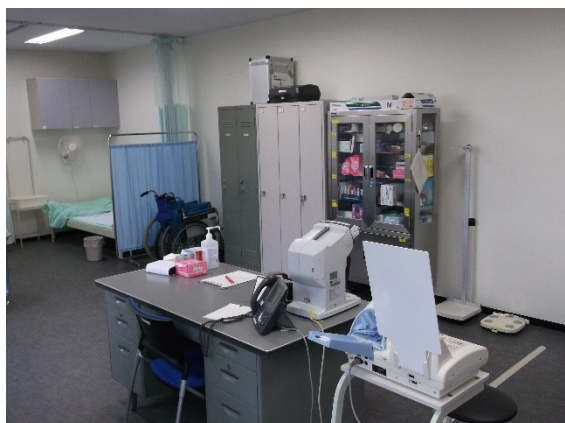


医学部2号館・2階・214室

※休養室と相談室は別の場所にあります。  
 ※休養室：東病棟1階 相談室：記念館8階

【矢巾キャンパス】

(1) ～令和元年9月23日



休 養 室



相 談 室



健康管理センター

(2) 令和元年9月24日～

【矢巾キャンパス】



健康管理センター



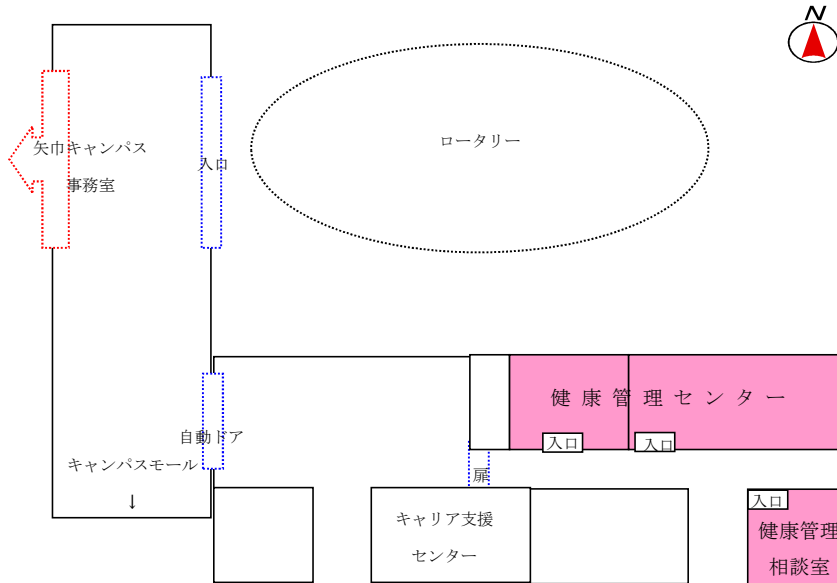
休 養 室



休 養 室



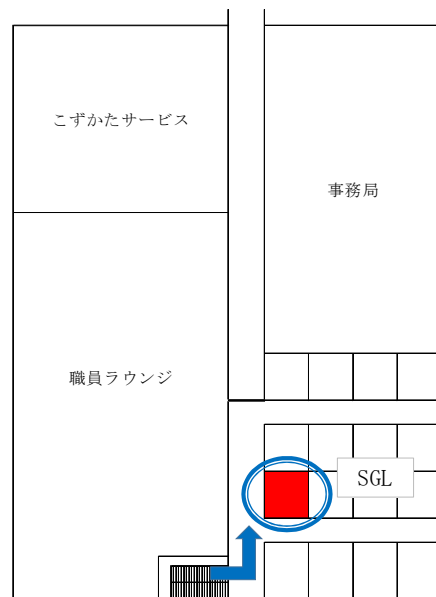
相 談 室



<東研究棟 1階 104・105・106>



相談室 (トクタヴェール2階)



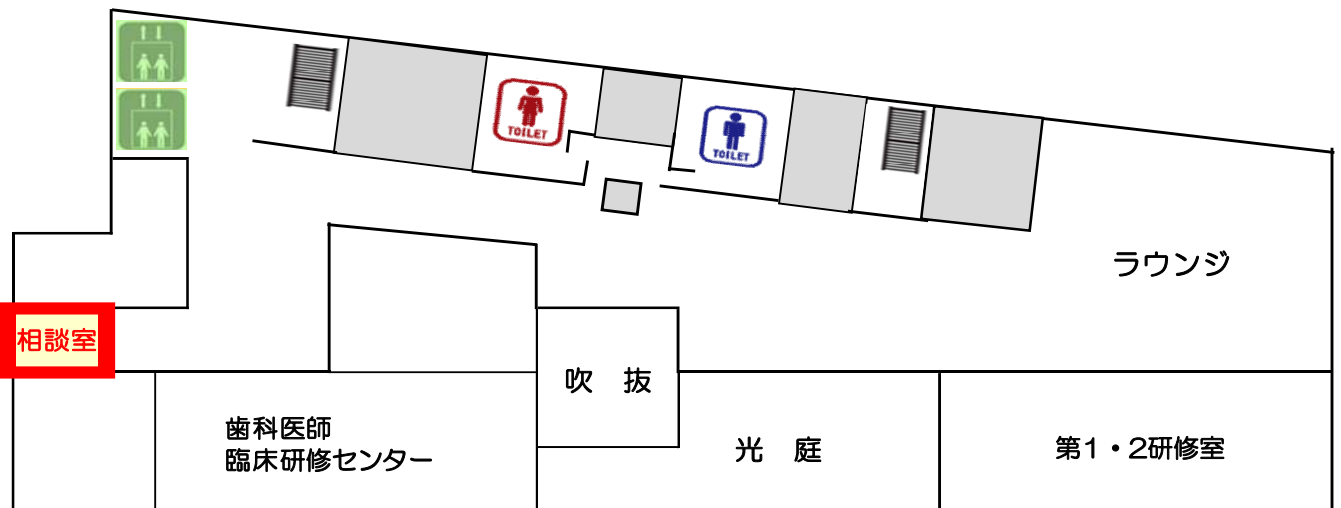
<トクタヴェール2階>



【内丸キャンパス】



相談室（内丸メディカルセンター入院棟8階）



<内丸メディカルセンター入院棟8階>

## Ⅱ 平成 31 年度／令和元年度 事業報告

## Ⅱ 平成31年度／令和元年度事業報告

### 1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）

	職 員	学 生
4月	22日(月)～5月7日(火) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者)	22日(月)内丸キャンパス 健康診断(医5・6年、歯5・6年、専攻科、歯技工2年、 歯衛生1～3年) B型肝炎ワクチン接種前検査(歯衛生1年、専攻科) 24日(水)矢巾キャンパス 健康診断(医3年、歯2年、薬2・4・5年、看2年) B型肝炎ワクチン接種前検査(医3年、薬4年) 25日(木)矢巾キャンパス 健康診断(医1・4年、歯1・4年、薬・看1年) B型肝炎ワクチン接種前検査(歯4年、看1年) 26日(金)矢巾キャンパス 健康診断(医2年、歯・薬・看3年、薬6年)
5月	20日(月)～6月5日(水) 電離放射線業務従事者問診票(対象者) 27日(月)～31日(金)内丸キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 27日(月)～6月5日(水) VDT健診(問診) 27日(月)～6月14日(金)胃がん検診	10日(金) 心理検査(医・歯・薬・看1年) ※2年生以上は健康診断時に実施 23日(木) B型肝炎ワクチン1回目接種(歯・薬4年、歯衛生1年、 専攻科) 24日(金) B型肝炎ワクチン1回目接種(医3年、看1年)
6月	3日(月)・4日(火)矢巾キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 13日(木)石綿健康診断(対象者) 13日(木)～28日(金)ストレスチェック面接 25日(火)・27日(木)VDT健診(要検査者)	20日(木)B型肝炎ワクチン2回目接種(歯・薬4年、歯衛生1年、 専攻科) 21日(金) B型肝炎ワクチン2回目接種(医3年、看1年)
7月	23日(火)・24日(水) B型肝炎ワクチン1回目接種(対象者) 16日(火)～31日(水)ストレスチェック面接	
8月	20日(火)・21日(水) B型肝炎ワクチン2回目接種(対象者)	
9月		
10月	17日(木)～24日(木) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者) 23日(水)・24日(木)内丸キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者) 28日(月)～11月2日(土)矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11月	7日(木)～22日(金)電離放射線問診票 19日(火)～22日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者)	7日(木) B型肝炎ワクチン3回目接種(歯・薬4年、歯衛生1年、 専攻科) 8日(金) B型肝炎ワクチン3回目接種(医3年、看1年)
12月	2日(月)～9日(月)大腸がん検診(40歳以上の希望者) 9日(月)～13日(木)石綿健康診断(対象者)	5日(木) B型肝炎ワクチン接種後採血(歯・薬4年、歯衛生1年、 専攻科) 6日(金) B型肝炎ワクチン接種後採血(医3年、看1年)
1月	7日(火)・8日(水) B型肝炎ワクチン3回目接種(対象者)	9日(木) B型肝炎ワクチン追加接種 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年)
2月	4日(火)・5日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者) 25日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者)	6日(木) B型肝炎ワクチン追加接種後採血 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年)
3月	24日(火)・25日(水) B型肝炎ワクチン追加接種後採血(対象者)	

## 2. 学生健康管理実施状況

### 1) 学生健康診断

#### (1) 学部

##### <健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察（眼科診察、耳鼻科診察を含む）、視力検査、胸部X線

1年生：全学共通＋尿検査、血液検査、歯科健診

4年生：全学共通＋尿検査、血液検査

※健診対象外は、休学・退学者

##### <実施日>

内丸キャンパス：平成31年4月22日（月）

矢巾キャンパス：平成31年4月24日（水）～4月26日（金）

##### <結果集計>

学部	学年	在籍者			健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳										医療機関 受診者	
		男	女	計					A		B-1		B-2		C-1		C-2			
									特記事項なし	要経過観察	要指導	要治療継続	要受診							
医学部	1年	91	40	131	0	131	130	99.2%	16	12.3%	45	34.6%	8	6.2%	4	3.1%	57	43.8%	21	36.8%
	2年	100	37	137	0	137	136	99.3%	70	51.5%	9	6.6%	9	6.6%	9	6.6%	39	28.7%	8	20.5%
	3年	80	42	122	0	122	122	100%	71	58.2%	4	3.3%	11	9.0%	7	5.7%	29	23.8%	3	10.3%
	4年	100	36	136	0	136	136	100%	15	11.0%	40	29.4%	8	5.9%	4	3.0%	69	50.7%	6	8.7%
	5年	89	42	131	1	130	129	99.2%	70	54.3%	13	10.1%	6	4.6%	15	11.6%	25	19.4%	2	8.0%
	6年	92	52	144	1	143	132	92.3%	68	51.5%	14	10.6%	10	7.5%	20	15.2%	20	15.2%	2	10.0%
歯学部	1年	32	21	53	0	53	53	100%	6	11.3%	19	35.9%	2	3.8%	4	7.5%	22	41.5%	12	54.5%
	2年	38	21	59	2	57	56	98.2%	30	53.6%	2	3.6%	7	12.5%	4	7.1%	13	23.2%	4	30.8%
	3年	35	18	53	0	53	49	92.4%	21	42.9%	4	8.2%	2	4.1%	6	12.2%	16	32.6%	2	12.5%
	4年	29	14	43	0	43	43	100%	4	9.3%	10	23.3%	0	0.0%	4	9.3%	25	58.1%	6	24.0%
	5年	36	32	68	0	68	68	100%	42	61.8%	6	8.8%	7	10.3%	8	11.8%	5	7.3%	0	0.0%
	6年	36	21	57	1	56	56	100%	28	50.0%	2	3.6%	8	14.2%	2	3.6%	16	28.6%	4	25.0%
薬学部	1年	24	29	53	0	53	52	98.1%	5	9.6%	15	28.9%	5	9.6%	5	9.6%	22	42.3%	14	63.6%
	2年	43	40	83	0	83	83	100%	38	45.8%	2	2.4%	13	15.7%	3	3.6%	27	32.5%	11	40.7%
	3年	43	73	116	0	116	115	99.1%	48	41.7%	5	4.4%	15	13.0%	14	12.2%	33	28.7%	8	24.2%
	4年	34	65	99	2	97	97	100%	7	7.2%	18	18.6%	17	17.5%	12	12.4%	43	44.3%	17	39.5%
	5年	56	63	119	0	119	118	99.2%	69	58.5%	5	4.2%	14	11.9%	6	5.1%	24	20.3%	3	12.5%
	6年	91	117	208	1	207	207	100%	99	47.9%	10	4.8%	28	13.5%	22	10.6%	48	23.2%	9	18.8%
看護学部	1年	6	84	90	1	89	89	100%	8	9.0%	33	37.1%	5	5.6%	5	5.6%	38	42.7%	24	63.2%
	2年	6	87	93	0	93	93	100%	61	65.6%	3	3.2%	8	8.6%	6	6.5%	15	16.1%	10	66.7%
	3年	8	87	95	0	95	95	100%	45	47.4%	5	5.3%	8	8.4%	9	9.5%	28	29.5%	7	25.0%
合 計		1069	1021	2090	9	2081	2059	98.9%	821	38.8%	264	12.9%	191	9.2%	169	8.2%	614	29.9%	173	28.18%

※他医療機関受診者も受診者に含む（10名）

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	判定項目の内訳			
				内科	高血圧	視力	胸部X線
医学部	1年	131	130	3	6	33	0
	2年	137	136	1	8	33	1
	3年	122	122	1	1	27	0
	4年	136	136	8	7	32	1
	5年	130	129	2	3	22	0
	6年	143	132	3	4	14	0
歯学部	1年	53	53	0	0	12	0
	2年	57	56	3	0	11	0
	3年	53	49	2	6	9	0
	4年	43	43	2	1	9	1
	5年	68	68	0	1	3	1
	6年	56	56	3	5	10	0
薬学部	1年	53	52	0	0	15	1
	2年	83	83	0	5	22	0
	3年	116	115	2	6	27	0
	4年	97	97	0	0	22	0
	5年	119	118	2	8	16	0
	6年	207	207	4	14	35	0
看護学部	1年	89	89	3	0	18	0
	2年	93	93	2	2	13	0
	3年	95	95	6	0	25	1
合計		2081	2059	47	77	408	6

対象：1・4年

尿検査・血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	要受診項目																	
				尿検査		血液検査															
				尿糖	尿蛋白	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c	
医学部	1年	131	130	0	11	2	0	0	0	0	0	0	5	2	6	1	0	0	2	1	0
	4年	136	136	0	10	5	0	0	0	0	1	6	3	13	6	2	3	9	0	0	
歯学部	1年	53	53	0	6	0	1	0	0	0	1	2	3	7	3	1	1	3	0	0	
	4年	43	43	0	1	3	0	0	0	0	0	1	3	9	2	1	3	3	0	0	
薬学部	1年	53	52	0	5	1	0	1	2	1	0	3	2	3	3	0	2	0	0	0	
	4年	97	97	0	9	0	0	0	0	0	0	1	1	5	4	0	7	2	0	0	
看護学部	1年	89	89	1	13	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
合計		602	600	1	55	13	1	3	3	1	2	18	14	43	19	5	17	20	1	0	



対象：1年  
 歯科検診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳								医療機関 受診者	
	男	女	計					A 良好	B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療				
医学部	91	40	131	0	131	128	97.7%	61	47.7%	17	13.3%	1	0.8%	49	38.3%	10	20.0%
歯学部	32	21	53	0	53	51	96.2%	23	45.1%	5	9.8%	0	0.0%	23	45.1%	8	34.8%
薬学部	24	29	53	0	53	51	96.2%	21	41.2%	7	13.7%	2	3.9%	21	41.2%	13	56.5%
看護学部	6	84	90	1	89	89	100.0%	52	58.4%	13	14.6%	1	1.1%	23	25.8%	16	66.7%
合計	153	174	327	1	326	319	97.9%	157	49.2%	42	13.2%	4	1.3%	116	36.4%	47	39.2%

(2) 大学院生

< 健診項目 >

職員定期健康診断に準ずる

< 実施日 >

内丸キャンパス 令和元年5月27日(月)～31日(金)

矢巾キャンパス 令和元年6月3日(月)・6月4日(火)

< 結果集計 >

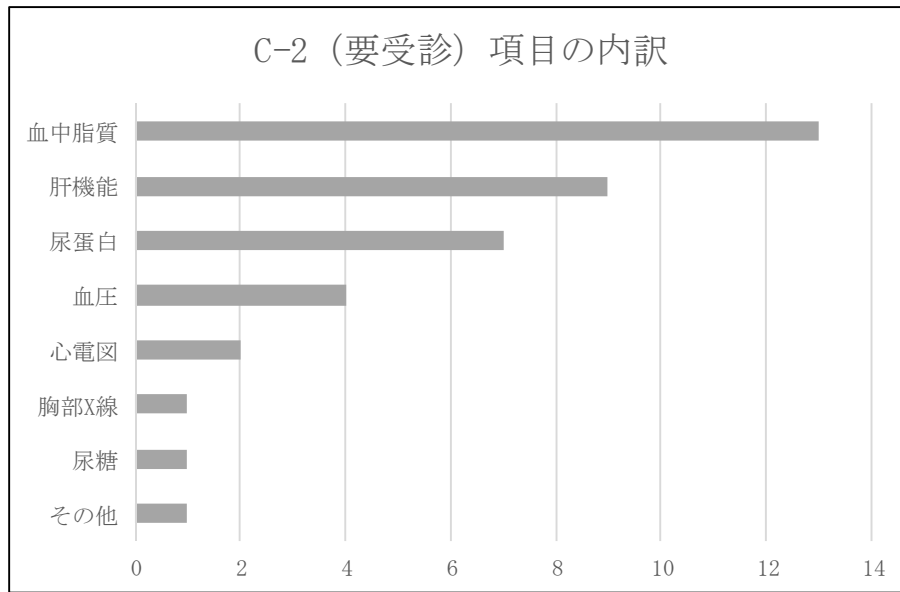
R1.12.26時点

	在籍者	健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳								C-2報告書提出		
						A 特記事項なし		B 要経過観察		C-1 要治療継続		C-2 要受診				
医学部 修士	1年	4	0	4	4	100.0%	1	(25.0%)	2	(50.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)		
	2年	3	1	2	2	100.0%	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)		
医学部 博士	1年	36	18	18	18	100.0%	1	(5.6%)	14	(77.8%)	0	(0.0%)	3	(16.7%)	2	(66.7%)
	2年	33	19	14	14	100.0%	4	(28.6%)	8	(57.1%)	0	(0.0%)	2	(14.3%)	1	(50.0%)
	3年	35	8	27	27	100.0%	3	(11.1%)	16	(59.3%)	1	(3.7%)	7	(25.9%)	2	(28.6%)
	4年	37	8	29	29	100.0%	6	(20.7%)	15	(51.7%)	0	(0.0%)	8	(27.6%)	3	(37.5%)
歯学部 博士	1年	15	4	11	11	100.0%	3	(27.3%)	5	(45.5%)	1	(9.1%)	2	(18.2%)	1	(50.0%)
	2年	8	0	8	8	100.0%	2	(25.0%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(25.0%)	2	(100.0%)
	3年	4	0	4	4	100.0%	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)	0	(0.0%)
	4年	5	0	5	5	100.0%	1	(20.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	2	(40.0%)	1	(50.0%)
薬学部 修士	2年	1	0	1	1	100.0%	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)		
薬学部 博士	1年	4	0	4	4	100.0%	1	(25.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)		
	2年	3	1	2	2	100.0%	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
	3年	2	0	2	2	100.0%	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)		
	4年	3	2	1	1	100.0%	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)		
合計	193	61	132	132	100.0%	25	(18.9%)	71	(53.8%)	5	(3.8%)	31	(23.5%)	12	(38.7%)	

※健診対象外：退学者、本学以外での研修者・勤務者等

※本学以外での研修者・勤務者等の健診結果42名中24名提出（提出率：57.1%）

<結果>



n = 31 (複数該当あり)

(3) 岩手看護短期大学

< 健診項目 >

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察（眼科診察、耳鼻科診察を含む）、視力検査、胸部 X 線

専攻科：全学共通+尿検査、血液検査

※健診対象外は、休学・退学者

< 実施日 >

内丸キャンパス：平成 31 年 4 月 22 日（月）

< 結果集計 >

	在籍者			健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳										医療機関 受診者	
	男	女	計					A 特記事項なし		B-1 要経過観察		B-2 要指導		C-1 要治療継続		C-2 要受診			
地域看護学専攻	0	20	20	0	20	20	100.0 %	1	5.0 %	7	35.0 %	3	15.0 %	1	5.0 %	8	40.0 %	7	87.5 %
助産学専攻	0	15	15	0	15	15	100.0 %	3	20.0 %	5	33.4 %	2	13.3 %	2	13.3 %	3	20.0 %	2	66.7 %
合計	0	35	35	0	35	35	100.0 %	4	11.4 %	12	34.3 %	5	14.3 %	3	8.6 %	11	31.4 %	9	81.8 %

< 結果 >

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

	対象者	受診者	判定項目の内訳			
			内科	高血圧	視力	胸部 X 線
地域看護学専攻	20	20	2	0	6	0
助産学専攻	15	15	1	0	2	0
合計	35	35	3	0	8	0

尿検査・血液検査：要受診項目 該当者なし

(4) 医療専門学校

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察（眼科診察、耳鼻科診察を含む）、視力検査、胸部 X 線

1 年生：全学共通＋尿検査、血液検査、歯科健診

※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成 31 年 4 月 22 日（月）

<結果集計>

学科	学年	在籍者			健診対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳										医療機関受診者	
		男	女	計					A 特記事項なし		B-1 要経過観察		B-2 要指導		C-1 要治療継続		C-2 要受診			
歯科技工学科	2 年	4	3	7	0	7	7	100.0 %	2	28.6 %	1	14.3 %	1	14.3 %	0	0.0 %	3	42.8 %	0	0.0 %
歯科衛生学科	1 年	0	34	34	0	34	34	100.0 %	8	23.5 %	12	35.3 %	4	11.8 %	0	0.0 %	10	29.4 %	3	30.0 %
	2 年	0	32	32	0	32	32	100.0 %	15	46.9 %	2	6.2 %	3	9.4 %	4	12.5 %	8	25.0 %	1	12.5 %
	3 年	0	33	33	0	33	33	100.0 %	18	54.5 %	2	6.1 %	2	6.1 %	3	9.1 %	8	24.2 %	0	0.0 %
合計		4	102	106	0	106	106	100.0 %	43	40.6 %	17	16.0 %	10	9.4 %	7	6.6 %	29	27.4 %	4	13.8 %

<結果>

対象：全学年

要受診項目の内訳

		対象者	受診者	判定項目の内訳			
				内科	高血圧	視力	胸部X線
理工学科	2年	7	7	1	0	3	0
衛生学科	1年	34	34	4	0	6	0
	2年	32	32	1	0	7	0
	3年	33	33	1	0	7	0
合計		106	106	7	0	23	0

対象：1年

尿検査・血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	要受診項目																	
				尿検査		血液検査															
				尿糖	尿蛋白	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDLC	LDLC	TG	血糖	HbA1c	
衛生学科	1年	34	34	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

対象：1年

歯科検診

	在籍者			対象者 健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳								医療機関 受診者	
	男	女	計					A 良好	B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療				
衛生学科	0	34	34	0	34	34	100.0%	16	47.1%	0	0.0%	17	10.2%	1	2.9%	6	33.3%

## 2) 各種ワクチン接種

### (1) B型肝炎ワクチン接種

<対象者>

医学部3年、歯学部4年、薬学部4年、看護学部1年

医療専門学校 歯科衛生学科1年

※本学において、過去に接種済みの学生は対象から除く

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成31年4月22日、24日、25日

対象者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
	陽性	不十分	陰性
408	16	13	379

<ワクチン接種対象者>

392名：抗体価不十分・陰性と判定された学生

<日程>

ワクチン接種1回目	5月23日、24日
ワクチン接種2回目	6月20日、21日
ワクチン接種3回目	11月7日、8日
ワクチン3回接種後抗体価検査	12月5日、6日
ワクチン追加接種	1月9日
ワクチン追加接種後抗体価検査	2月6日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	10	10	10	9	1	0
3回接種	382	378	377	356	15	6
3回接種後追加接種	21	21	20	12	5	3

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された学生

(2) インフルエンザワクチン接種

<接種日>

内丸キャンパス：令和元年10月23日(水)・24日(木)

矢巾キャンパス：令和元年10月28日(月)～11月2日(土)

学部	学年	対象者数※ (人)	接種者数 (人)	本学での接種率(%)
医学部	1年生	131	114	87.0%
	2年生	136	104	76.5%
	3年生	122	111	91.0%
	4年生	136	47	34.6%
	5年生	130	103	79.2%
	6年生	143	97	67.8%
医学部 計		798	576	72.2%
歯学部	1年生	53	40	75.5%
	2年生	57	47	82.5%
	3年生	53	36	67.9%
	4年生	43	36	83.7%
	5年生	68	61	89.7%
	6年生	56	48	85.7%
歯学部 計		330	268	81.2%
薬学部	1年生	53	50	94.3%
	2年生	83	65	78.3%
	3年生	116	94	81.0%
	4年生	97	86	88.7%
	5年生	119	69	58.0%
	6年生	147	132	89.8%
薬学部 計		615	496	80.7%
看護学部	1年生	88	86	97.7%
	2年生	92	92	100.0%
	3年生	94	91	96.8%
看護学部 計		274	269	98.2%
歯科衛生学科	1年生	34	33	97.1%
	2年生	32	32	100.0%
	3年生	32	32	100.0%
歯科技工学科	2年生	7	7	100.0%
医療専門学校 計		105	104	99.0%
看護短大	専攻科(地域)	20	20	100.0%
	専攻科(助産)	15	15	100.0%
看護短大 計		35	35	100.0%
合計		2,157	1,748	81.0%

※対象者数：秋卒・休学・退学(予定含み)は対象から除く。



### 3) 心理検査

#### <実施検査>

UPI (学生精神的健康調査)

令和1年度から実施対象が全学部学生となり、実施形式をマークシート形式に変更した。

#### <実施日等>

医学部	1年	2年	3年	4年	5年	6年
在籍学生数	131	137	122	136	131	144
実施者数	125	137	122	135	129	128
実施率	95.4%	100.0%	100.0%	99.3%	98.5%	88.9%
実施日	R1年5月10日	H31年4月26日	H31年4月24日	H31年4月25日	H31年4月22日	H31年4月22日

歯学部	1年	2年	3年	4年	5年	6年
在籍学生数	53	59	53	43	68	57
実施者数	53	54	50	42	68	56
実施率	100.0%	91.5%	94.3%	97.7%	100.0%	98.2%
実施日	R1年5月10日	H31年4月24日	H31年4月26日	H31年4月25日	H31年4月22日	H31年4月22日

薬学部	1年	2年	3年	4年	5年	6年
在籍学生数	53	83	116	98	119	207
実施者数	51	83	116	95	116	207
実施率	96.2%	100.0%	100.0%	96.9%	97.5%	100.0%
実施日	R1年5月10日	H31年4月24日	H31年4月26日	H31年4月24日		H31年4月26日

看護学部	1年	2年	3年
在籍学生数	90	93	95
実施者数	89	93	94
実施率	98.9%	100.0%	98.9%
実施日	R1年5月10日	H31年4月24日	H31年4月26日

#### <結果>

	実施者数	平均値	ハイスコア者数	割合
医 1	125	9.2	4	3.2%
医 2	137	3.3	0	0%
医 3	122	5.0	3	2.5%
医 4	135	5.1	3	2.2%
医 5	129	3.0	0	0%
医 6	128	4.4	1	0.8%
歯 1	53	10.2	0	0%
歯 2	54	5.4	1	1.9%
歯 3	50	9.4	3	6.0%
歯 4	42	7.0	1	2.4%
歯 5	68	7.6	2	2.9%
歯 6	56	7.6	1	1.8%
薬 1	51	10.9	2	3.9%
薬 2	83	3.9	0	0%
薬 3	116	6.9	3	2.6%
薬 4	95	6.0	1	1.1%
薬 5	116	6.0	0	0%
薬 6	206	6.4	1	0.4%
看 1	89	10.1	0	0%
看 2	93	4.9	0	0%
看 3	94	5.0	1	1.1%
全体	2042	10.5	27	1.3%

<UPI 学生精神的健康調査> 回答数が多かった上位3項目について

医学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	首すじや肩がこる	気疲れがする
2位	首すじ肩がこる	気疲れがする	首すじや肩がこる
3位	やる気が出てこない	気分に波がありすぎる	やる気が出てこない

歯学部

	1年	2年	3年
1位	気疲れがする	やる気が出てこない	気疲れがする
2位	体がだるい	首すじや肩がこる	なんとなく不安である
3位	他人の視線が気になる	気分に波がありすぎる	やる気が出てこない 気分に波がありすぎる 首すじや肩がこる 根気が続かない 決断力がない ものごとに自信がもてない

薬学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	やる気が出てこない	首すじや肩がこる
2位	将来のことを心配しすぎる	気分に波がありすぎる	気疲れがする
3位	決断力がない	決断力がない 他人の視線が気になる	やる気が出てこない

	4年	5年	6年
1位	やる気が出てこない	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる
2位	気疲れがする	やる気が出てこない	気疲れがする
3位	記憶力が低下している	気疲れがする	記憶力が低下している ものごとに自信がもてない

看護学部

	1年	2年
1位	なんとなく不安である	首すじや肩がこる
2位	やる気が出てこない	やる気が出てこない
3位	気疲れがする 根気が続かない	気分に波がありすぎる

#### 4) 禁煙対応

##### <禁煙支援>

個人サポート 1名

##### 【内容】

- ・ニコチン依存度チェック
- ・ヘビースモーカーチェック
- ・禁煙意志の確認
- ・禁煙外来医療機関の説明（一覧表配付）
- ・禁煙治療スケジュールの説明
- ・禁煙治療費用の説明
- ・離脱症状対処法の説明
- ・定期的に確認、サポート

##### <禁煙パトロール>

4月から大学敷地内全面禁煙を受けパトロールを開始

毎月1回 30分程度 大学キャンパス内及び大学周辺道路

※清掃活動を兼ねて実施

日 時		参加人数
4月16日(火)	16時～16時30分	13人
5月14日(火)	15時40分～16時10分	11人
6月18日(火)	16時～16時30分	19人
7月30日(火)	16時～16時30分	20人
8月27日(火)	16時～16時30分	16人
9月24日(火)	16時～16時30分	19人
10月15日(火)	12時～12時20分	12人
11月12日(火)	12時30分～12時50分	10人
12月24日(火)	12時30分～12時50分	14人
1月28日(火)	12時30分～12時50分	13人
2月18日(火)	12時30分～12時50分	12人
3月17日(火)	12時30分～12時50分	13人

##### <ポスター掲示>

- ①禁煙パトロール
- ②世界禁煙デー・禁煙週間

##### <健康管理センターだよりで周知>

- ①禁煙パトロール
- ②禁煙支援のお知らせ

<令和元年度 受動喫煙講習会 アンケート結果（1年生）>

実施時期：令和元年6月28日（金）13時～14時30分

1. 参加者（率）

	対象者	参加者	参加率
医学部	131	109	(83.2%)
歯学部	53	47	(88.7%)
薬学部	53	47	(88.7%)
看護学部	90	86	(95.6%)
計	327	289	(88.4%)

2. アンケート結果

(1) 回収数（率）

	男		女		計	
医学部	66	(60.6%)	36	(33.0%)	102	(93.6%)
歯学部	26	(55.3%)	20	(42.6%)	46	(97.9%)
薬学部	20	(42.6%)	25	(53.2%)	45	(95.7%)
看護学部	6	(7.0%)	80	(93.0%)	86	(100.0%)
計	118	(40.8%)	161	(55.7%)	279	(96.5%)

(2) 今回の内容について

①よかった ②ふつう ③あまり良くなかった ④良くなかった

※未回答あり

	①よかった		②ふつう		③あまり良くなかった		④良くなかった	
	男	女	男	女	男	女	男	女
医学部	47(71.2%)	27(75.0%)	12(18.2%)	7(19.4%)	4(6.1%)	0	2(3.0%)	0
歯学部	14(53.8%)	14(70.0%)	9(34.6%)	5(25.0%)	1(3.8%)	0	1(3.8%)	0
薬学部	17(85.0%)	17(68.0%)	3(15.0%)	8(32.0%)	0	0	0	0
看護学部	6(100.0%)	66(82.5%)	0	12(15.0%)	0	0	0	0
計	84(71.2%)	124(77.0%)	24(20.3%)	32(19.9%)	5(4.2%)	0	3(2.5%)	0

(3) 感想をご自由に記載してください。

別紙2のとおり

(4) その他、取り上げてほしい内容・今後の希望等がありましたら記載してください。

別紙3のとおり

(3) 感想をご自由に記載してください。

	①有意義な講習会 (誤解の修正)	②大学へ意見・取組要望	③禁煙実行・推奨
	④講義への意見・不満	⑤感想・今後の希望	
①有意義な講習会 (誤解の修正)	学生2 (医男)	たばこの危さを知れてよかった。	
	学生3 (医男)	受動喫煙がどれほど害を及ぼしているかというのを知り、驚いた。	
	学生5 (医男)	受動喫煙講習会に近いものを何度かしている気がする。今回の講義だけでよかった。	
	学生9 (医男)	よかった。涙がでた。(ねむくて)	
	学生10 (医男)	すばらしい。すっごくためになった!!今年の講義で一番よかった。	
	学生13 (医男)	受動喫煙がいかに有害であるか理解することができて大変良かったです。	
	学生14 (医男)	たばこの仕組みを少し理解することができた。	
	学生22 (医男)	喫煙の危険について、またたばこ製造についての社会システムを理解できた。	
	学生26 (医男)	とてもためになる講習会であり、良かった。	
	学生30 (医男)	受動喫煙がどれだけ周りに悪影響を与えているかがよく分かった。	
	学生33 (医男)	図やデータなどがたくさん示されていて、受動喫煙の危険性を改めて感じることができた。	
	学生34 (医男)	大変参考になった。	
	学生36 (医女)	タバコを自分が吸っていなくても受動喫煙で、脳卒中などの可能性が非常に高くなると分かった。	
	学生39 (医男)	もっと「タバコよくない」だけ言いつづけるかと思ったが、意外とエビデンスに基づいていた。	
	学生40 (医女)	加熱式タバコも身体に相当悪いこともわかってよかったです。	
	学生42 (医女)	電子たばこであっても、とても危険なものであるということがわかった。また、受動喫煙の危険も改めて理解することができた。	
	学生43 (医女)	煙草の危険性が改めて良く分かって良かった。	
	学生45 (医女)	グラフなどが用いられていて分かりやすかった。	
	学生46 (医女)	受動喫煙についてくわしく知ることができた。	
	学生47 (医女)	喫煙の怖さについて良くわかった。	
	学生48 (医女)	有害物質が、30~40分つづくことを知らなかった。	
	学生51 (医女)	タバコに関する広告に対して注意しなければならないことが具体的に述べられていてよかった。	
	学生52 (医女)	たばこを吸わなくても被害があると知った。	
	学生57 (歯男)	タバコは改めて危険なものと感じた。	
	学生59 (歯男)	受動喫煙についてよく知ることができ良かった。	
	学生61 (歯男)	加熱式タバコや電子タバコに関する話は興味深かったです。	
学生62 (歯男)	タバコが健康に及ぼす影響はある程度知ってはいたが、本講習にて原因となる物質等の知識が得られ、より理解が深まった。		
学生63 (歯男)	タバコ以外でも電子タバコも人に有害な影響があることがわかった。		
学生64 (歯男)	タバコの害悪さをよく知れた。		
学生65 (歯男)	アイコスも危険だと思った。アイコスは大丈夫とかっていっていたけどちょっと思ったよりよくなかった。		
学生66 (歯男)	喫煙についての知識が深まった。		
学生69 (歯男)	今回の講座では、喫煙という行為が如何に体に害であるかや、受動喫煙によって多くの命が失われているということをデータ・数値を用いて具体的に示して頂いたので改めてこの行いの愚かさを理解できた。		
学生70 (歯男)	喫煙のリスク及び受動喫煙の危険性について改めて知ることができた。ありがとうございました。		
学生71 (歯女)	i Q O Sは受動喫煙になることに驚いた。たばこより、i Q O Sたちの方が良いと思っていたが、どっちにしろ残りのけむりの影響があることを知れてよかった。		
学生72 (歯女)	タバコのけむりは他の人にも害しているということを知れた。		
学生73 (歯女)	わかりやすかったです。		
学生75 (歯女)	わかりやすかった。		

① 有意義な講習会（誤解の修正）	学生76（歯女）	①タバコの危険性を改めて意識することができた。 ②周りや自分の身体に与える影響もくわしく知ることができたので良かった。
	学生77（歯女）	タバコがどのようなしくみになっているかなどのことも詳しく知ることができた。
	学生78（歯女）	たばこの危険性をよく知ることができたのでよかった。
	学生79（歯女）	①公衆衛生学・医学的勉強にもつながる内容で聴きやすかった。 ②受動喫煙をできるだけ減らせるよう、喫煙者との関わり方をより考えていきたい。
	学生80（歯女）	如何に煙草が害あるものかがよく分かった。また、今まで電子たばこのしむみがよく分かっていなかった為、説明して下さってとても有難かったです。電子たばこも紙たばこと同じ様に危険なものだと知りました。
	学生85（薬男）	タバコはいいことなどないところがわかった。自身も相手も不幸にするものだと改めて認識した。IQOSでも、結果は病気になる、形を変えても意味はないことを学んだ。合法には何か欠点があると思った。
	学生86（薬男）	受動喫煙によって肺の機能低下と肺ガンになりやすいのは知っていたが、全身に健康影響が現れることが分かって良かった。
	学生87（薬男）	紙だけではなくて、電子タバコの方も危険であることを知りました。とにかくすわないのが一番だと思いました。
	学生88（薬男）	電子タバコの構造についてや喫煙についての法律について学ぶことができたて良かった。
	学生90（薬男）	喫煙することの怖さが知れたこともいい機会だった。
	学生93（薬男）	たばこの怖さを知った。
	学生97（薬女）	受動喫煙でも虚血性心疾患のリスクが1.3倍になることに驚いた。
	学生98（薬女）	具体的な例を示して下さったので分かりやすく理解できました。
	学生100（薬女）	① i Q O S について、店頭にある商品リーフレットの内容をそのまま信じていたので、今回の講義の中で、ニコチン量は同程度含まれていること、巻たばこと同様に発がん性物質が発生することなどを知り、加熱式たばこに関する法律もより厳しくすべきだと思った。 ②たばこに関わりたくない人をより保護できる環境をつくらなければいけないと思った。
	学生101（薬女）	たばこは良くないと改めて思った。いろいろな害があるので怖いものだと思う。
	学生103（薬女）	①タバコの具体的な危険性を知ることができた。 ②タバコ種類を理解できたので良かった。
	学生104（薬女）	今回の講演会で、受動喫煙による健康被害の恐ろしさを知ったので、今後の生活で気をつけたい。
	学生105（薬女）	たばこを吸わない人でもたばこの煙で肺がんになる割合が多いことが分かった。
	学生106（薬女）	たばこが危険な物だと改めて思いました。
	学生111（看男）	受動喫煙でも健康に害を及ぼすことは知っていたが、想像より多くの危険があることがわかった。
	学生112（看女）	多様化するタバコの種類とその危険性が理解できた。
	学生116（看女）	受動喫煙による被害が分かった。喫煙している人が吸ってすぐ～30分は害があることが知れた。IQOSは安全なものだと思っていた。
	学生117（看女）	たばこのこわさを改めて知った。電子たばこもこわいんだということがわかった。一生吸いません。
	学生118（看女）	受動喫煙による健康への被害やたばこの危険性を改めて理解できました。
	学生119（看女）	受動喫煙だけでもこんなに害があるのが怖いなと思った。
	学生120（看女）	受動喫煙のリスクについてよく分かった。
	学生122（看女）	改めて、喫煙そして喫煙の怖さを知った。
学生124（看女）	電子タバコの知識を知ることができたので良かったです。	
学生125（看女）	受動喫煙・能動喫煙・電子たばこについてたくさん知ることができました。	
学生127（看女）	主流煙と副流煙とでは、副流煙中の方が発がん性物質の含有量が多いことを知り、驚いた。また、加熱式タバコを使用することを喫煙でないと誤った考えの人もいるのだなと思った。	

① 有意義な講習会（誤解の修正）	学生129（看女）	受動喫煙に対する誤解や加熱式タバコにも正しい知識が広まっておらず、私たちが思っている以上に、本人も周囲にも悪影響を及ぼすと知った。受動だけでも多くの命をうばっているの、知識が広まり、そういった残念な死が減ればいいと思う。 結婚相手はしっかり選びたい。
	学生130（看女）	受動喫煙による健康被害はとても大きいと分かった。
	学生132（看女）	受動喫煙について良くわかった。
	学生135（看女）	喫煙はいけないことだと思った。
	学生137（看女）	電子たばこだからといって害がなくたっていいというものではないということが分かった。
	学生138（看女）	J Tの収入利益についてや、たばこを吸っているときだけが周りに害をあたえているわけではないことがとても衝撃的であった。
	学生140（看女）	1万4千人が受動喫煙によって亡くなっていることに驚いた。また、長崎大学は喫煙者を採用しないなど、たばこの使用を防ぐ取り組みを行っていることを知り、このような方針が多くの場所で広がってほしいと考える。
	学生141（看女）	i Q O Sでも十分被害があることを知った。
	学生144（看女）	今回、講義を受けたことによりどれだけ受動喫煙が危険であるのか再認識した。また加熱式たばこを周りで吸っている人がおり、誤解があるようなので、自信をもって止めろと言いたいと思った。
	学生145（看女）	たばこはデメリットだらけであることが分かりました。たばこを吸う人が減ればいいなと思います。
	学生146（看女）	受動喫煙で死んでしまう人がこんなにも多いことが分かった。周りに迷惑がかかるので、たばこは吸いたくないし、なるべく吸ってる人の近くにいかないようにしたい。
	学生147（看女）	加熱たばここと紙たばこのちがいがあまりないということを理解できました。
	学生150（看女）	受動喫煙は自分だけでなく、大切な人にも害を与え、タバコがいかに悪いか分かった。
	学生151（看女）	父が i Q O S を使用しているため、とても興味深い内容だった。I Q O S 使用后、独特の臭いにおいが残り、具合悪くなるため、今すぐやめてほしいと思った。また、喫煙者のせいで15000人も日本人が毎年亡くなっているということを知ってもらい、間接的に殺人をしているということを実感してほしいと思った。
	学生152（看女）	喫煙による自分の健康被害、他人への健康被害が大変よくわかりました。
	学生153（看女）	加熱式タバコについて知る機会があってよかった。
	学生154（看女）	受動喫煙の恐ろしさを改めて知れた。
	学生156（看女）	たばこ、喫煙に関する正しい知識を知ることができてよかった。
	学生157（看女）	電子タバコも体に有害であることがわかりました。
	学生159（看女）	もし自分がたばこを吸ってしまったら、自分自身に健康被害を与えるだけでなく、身の周りの人の健康を害してしまうことが分かった。
学生161（看女）	受動喫煙は体にもものすごく悪いことがわかりました。	
学生162（看女）	喫煙がどれだけ危険か、とても分かりやすかった。自分も知らないうちに受動喫煙をしているかもしれないので、気をつけたいと思った。	
学生163（看女）	主流煙よりも副流煙のほうが有害であることが分かった。禁煙者のほうが就職に有利であることなども分かったのでみんなが治療を受けて禁煙者が増え、全ての人が暮らしやすい日本になっていけばいいと思う。	
学生164（看女）	たばこについて深く知れてよかった。	
学生165（看女）	タバコを吸う人が吸わない人にどれだけ悪い影響を与えているのかが分かって、改めてタバコを吸うことは良くないことだと思いました。	
学生167（看女）	①海外の各国のたばこに関する認識や、たばこの影響が詳しくわかった。 ②絶対にたばこはすいたくないと思うし、周りの人々にもたばこをすってほしくないと思った。	



① 有意義な講習会（誤解の修正）	学生168（看女）	①IQOSをはじめさまざまなタイプのタバコが販売されているがどれも危険だということを感じた。 ②受動喫煙での死亡数が非常に多く、驚いたし、罪のない人たちが喫煙者の影響で命を落としていることが残念に感じた。
	学生169（看女）	①受動喫煙が私たちにとってどれだけ危険なのかがわかった。能動喫煙よりも受動喫煙のほうが害が大きいことがわかった。 ②喫煙している人がたばこの危険性について理解して、これからの日本に喫煙している人がいなくなってくれたらと思った。
	学生170（看女）	受動喫煙の重大さを知った。
	学生171（看女）	受動喫煙の死亡率も意外と高いことがわかった。
	学生172（看女）	受動喫煙と能動喫煙による被害の大きさが分かった。吸った後、20～30分は有害物質を吐き出していると分かった。
	学生173（看女）	①受動喫煙もリスクが高いことがわかった。 ②能動喫煙のリスク、受動喫煙のリスクが共に健康に大きな被害があることが分かった。
	学生174（看女）	喫煙はどのような影響を及ぼすのかがわかりました。
見② 大学への取組の要望	学生16（医男）	喫煙者のいない大学を目指すなら、もっと徹底して取り組んでほしい。
	学生107（看男）	①電子タバコで喫煙していたとしても、周りに及ぼす健康被害は発生する事を知った。 ②タバコを吸う人が無くなり、人々の健康が維持される世界になれば良いと思う。 ③早急に岩手医科大学も全面禁煙するべきである。
	学生136（看女）	①喫煙、受動喫煙の危険性について学ぶことができた。 ②岩手医大も禁煙を徹底してほしいと思った。
③ 禁煙実行・推奨	学生24（医男）	兄に禁煙を勧めたいと思います。
	学生29（医男）	喫煙のこわさを改めて実感した。今後も吸わないようにする。
	学生37（医女）	①今回の講演会を聞いて、他人のタバコによって、全く関係のない人が被害を受けるのは嫌だと思った。 ②禁煙の対策をうまく使って、タバコをやめてもらいたい。
	学生41（医女）	①思っていた以上に受動喫煙が害があることを知って驚いた。 ②自分の父も電子タバコを吸っているのでぜひ今回の講義の内容を教えてあげたいと思った。
	学生56（歯男）	タバコは死ぬまで吸うまいと思った。
	学生58（歯男）	喫煙をしません。
	学生68（歯男）	タバコは吸わない。
	学生82（歯女）	電子タバコは身体に害がないと考えていたので真実を知り、以前と同様、自身だけでなく他人の健康を害するのだと知った。また、タバコの害によって身体に及ぶ影響やタバコが本当に危険であることを知れたので、タバコを吸っている人に対しても話して、禁煙に取り組むよう説得しようと思えた。
	学生89（薬男）	能動喫煙はもちろん受動喫煙の恐ろしさを知ることができた。医療人としての健康を守って立場としてしっかり禁煙の意識を捉していけるようになりた
	学生94（薬男）	今後の生前にいかしていきたいと思う。喫煙をすることは、自分にも他の人にも害があるので私は喫煙はしないと決めました。
	学生99（薬女）	友だちに喫煙している人がいるので、今日の講習会で学んだことを話してみようと思います。
	学生102（薬女）	タバコは将来なにがあっても吸わないと決意しました。
	学生110（看男）	i Q O S を初めて知った。広告を見るだけだと有害性は低いと思ってしまう。本当の有害性を周りにもっと周知するべきだと思った。
	学生113（看女）	受動喫煙も能動喫煙もどちらも受ける健康被害は大きいことに変わりがないことがわかった。タバコに手をださないようにしようと改めて思った。
	学生115（看女）	私の両親2人とも喫煙者で小さい頃から受動喫煙してしまっている身でもあるので、改めて喫煙はよくないと思った。タバコは絶対吸わない。周りで吸おうとしてる人がいれば止める。



③ 禁煙実行・推奨	学生121 (看女)	喫煙は絶対にしないし、周りの人にもしてほしくないと思った。
	学生126 (看女)	自分の周り(家族)に吸っている人がいるので禁煙するよう声かけを行いたいと思った。
	学生128 (看女)	紙巻たばこよりも加熱式たばこの方が害が小さいと考えている喫煙者は多いと思うが、そのようなことは一切ないということを知ってほしいと思う。周りの人の為にもやめてほしい。
	学生131 (看女)	私自身受動喫煙に気をつけ、また、喫煙者である父とも話をしようと思った。
	学生139 (看女)	たばこの危険性がよく分かった。健康への影響が大きいので、吸っている友達がいたら、やめるように言う勇気を持ちたい。
	学生142 (看女)	医療人を指すものとして、自己の健康を守るのはもちろんですが、他人の健康を害さないためにも、喫煙をしないことや、喫煙者にもやめるように促していきたい。
	学生149 (看女)	①父がたばこをやめてくれるように今日の資料をみせたいと思った。 ②たばこ会社が年間で14万人も殺していることは知らなかった。そんなのにお金を使ってほしくないと思った。
	学生158 (看女)	①たばこの種類や、電子たばこのことが分かった。 ②父にもすすめてみたいと思う(禁煙)。
	学生160 (看女)	煙喫は体によくないということが改めて分かった。 絶対にタバコは吸いたくない。
④ 講義への意見・不満	学生1 (医男)	科学的根拠を示してくれるのはありがたいが、自分が正しいと思うことを主張する様は、空恐ろしく感じる。事実の提示と、意思の強要は異なる。
	学生4 (医男)	喫煙しないし、する気もないのになんでこの講義を受けないといけないのかと思った。喫煙者かどうかだけで人間関係をせばめることは現在の環境では難しい。
	学生7 (医男)	元々嫌いなタバコですが、うまく禁煙の手伝いができればいいのにと思いました
	学生12 (医男)	加熱式煙草の害は紙巻きよりも少なく、種類によって大きな差があることが資料のデータからも読み取れるが、さも全ての加熱式煙草が紙巻き煙草と同等の害があるかのように話していた。また、煙草に限った話ではないことを持ち出したり、理由を具体的に述べずに「許せない」「素晴らしい」などの発言を連呼、喫煙者の人権に触れるようなことを遠回しに要求など、煙草への過剰なネガキャンが目立つ一方、禁煙のための取り組みへの説明が少なく、一方的な主張に感じた。
	学生17 (医男)	喫煙者だけで集めるべき。良い迷惑であった。
	学生31 (医男)	喫煙及び受動喫煙の危険性や、国・自治体としての取り組みに関しては学びがあったが、受動喫煙を個人的に防ぐ方法についてはほとんど提示されておらず、結局はノンスモーカーがたばこの影響を受けずに生きる術を知ることができなかった。
	学生53 (歯男)	治療の部分の話しをもう少し多く、話してもいいと思った。
	学生54 (歯男)	①煙草が有害だといって、一方的に煙草を規制すると社会的に何かしらの問題が生じ、喫煙者たちも素直にやめれないと思われるので、 <b>煙草より大麻などのより無害なものを解禁した方が良いのでは思った。</b> ②「たばこをなくしたいなら代用品を」という意見があると思われる。
	学生60 (歯男)	講師の言い回しが不快。たばこで親が殺されたのかという位の物言い。需要と供給の元に成り立ってる事で、客観的ではなく主観的な発言も度々見られた。自分は吸わない方だが、他人に迷惑をかけないのなら好きにしていっていい。
	学生81 (歯女)	喫煙者に対しての講義にしてほしい。
	学生108 (看男)	医学部の喫煙者にかぎって、遅れて講義を受けていて意味がないと思った。
学生109 (看男)	改めて‘受動喫煙’の危険性について知れた良い機会であった。ただし、この講習会のあとに喫煙している学生がどのような行動をとっていくのかについて、きちんと調査していく必要があると思う。	

⑤ 感想・今後の希望	学生6 (医男)	受動喫煙をしないように喫煙者の近くに行かないようにしたい。
	学生8 (医男)	タバコは喫煙者にも非喫煙者にも害を与えるにもかかわらず、本学生がタバコを使用している事実に残念に思う。
	学生11 (医男)	①喫煙している人は、周りの大切な人を傷付けていると感じた。 ②タバコと酒の有害性の比較はないのですか？
	学生15 (医男)	喫煙者は許せないなと思いました！！
	学生18 (医男)	タバコは絶対だめだと再度自覚しました。
	学生19 (医男)	私は気管支ぜんそくがあるので受動喫煙をしないように注意はしているが、今回の講演を聞いてもっと気をつけていと思えたので良かった。
	学生20 (医男)	楽しかったです。
	学生21 (医男)	たばこは吸いたくないと思いました。
	学生23 (医男)	良かったです。
	学生25 (医男)	自分がすわないだけでなく、周りにも気をつけなければならないと感じた。
	学生27 (医男)	自分がタバコを吸うことができないし、今後も吸うつもりはないから、タバコの話は自分にはあまり関係ないのではないかと思っていたが、受動喫煙の悪影響が大きくて驚いた。喫煙に対してははっきりNOと言うためにも、正しい知識
	学生28 (医男)	疲れました。
	学生32 (医男)	喫煙は医療人にふさわしくないと分かった。
	学生35 (医男)	おもしろかった。
	学生38 (医女)	喫煙をしていないため他人事だと思っていたが、近くに喫煙者がいるだけで大きな影響をうけていると知ったので、周りの環境にも気を配ろうと思った。
	学生44 (医女)	①学生でも喫煙している人が多く、授業中、隣の席になるとその臭いで頭が痛くなり気持ち悪くなる。 ②今回の講習を受けて受動喫煙のリスクを聞き、周りにいるだけで理不尽に害を受けることに対して、非常にやるせない気持ちになった。
	学生49 (医女)	興味深かった。喫煙者が減ると良いと思う。
	学生50 (医女)	受動喫煙から自分を守って、健康に長生きしたいです。
	学生55 (歯男)	ずらずらと専門用語を言われても良く分からなかった。
	学生67 (歯男)	能動喫煙者は本人はもちろんのこと、周りの人の健康も害するという話が印象的だった。
	学生74 (歯女)	喫煙はしていないが、吸っている人の近くに行くことはあるため、気をつけようと思った。
	学生83 (歯女)	喫煙・受動喫煙とも健康に良くない。
	学生84 (歯女)	周囲に喫煙者がいるので周りへの害を考えてほしいときちんと伝えようと感じ
学生91 (薬男)	5月末から禁煙を実行しており、約1か月続いています。今後もがんばって続け、成功させたいと思います。	
学生92 (薬男)	改めてタバコを吸わないと決めた。	
学生95 (薬女)	こうしてタバコが体によくないって言うことが改めてわかったけど、それでもタバコを吸う人がいる点が正直りかいできません。	
学生96 (薬女)	喫煙だけでなく、受動喫煙にも気を付けていたいと改めて感じた。	
学生114 (看女)	今流行している電子タバコも、紙巻きタバコと大して害は変わらないと知って、タバコを吸う人とは距離を置こう思った。	
学生123 (看女)	受動喫煙で自分に害にあるようなことを防いでいきたい。	
学生133 (看女)	タバコをつくっている側の人たちは依存者を増やそうと必死なことが分かった。私たちもなるべく受動喫煙しないように気を付けたい。	
学生134 (看女)	受動喫煙からしっかりと身を守りたいと思った。	
学生143 (看女)	喫煙は自分だけでなく周囲の人にも迷惑がかかるので、喫煙を許すような環境をつくってはいけないと思った。また、喫煙者はすぐに禁煙はできないと思うので、少しずつ禁煙にしていくことが大切だと思った。	
学生148 (看女)	身近にいる大人で喫煙している人があまりいなかったため、たばこに対して関心をもっていなかったが、今回お話を聞いてこれからは意識して気を付けたいと感じました。	

⑤ 感想・今後の希望	学生155 (看女)	喫煙者で「アイコスだからいいでしょ」みたいに言う人がいるけど、非喫煙者からしたらたばこは全部同じだと思っていたから今回の講義を聞いて間違っていないで良かった。
	学生166 (看女)	気が付かない間に煙の害を受けていることを喫煙者も非喫煙者も認識すべきだと思った。
	学生175 (看女)	喫煙は良くないと改めて実感した。
	学生176 (看女)	受動喫煙は本当に迷惑なので、きちんと国での対策を行ってほしいと思った。

<別紙3>

(4) その他、取り上げてほしい内容・今後の希望等がありましたら記載してください。

【医学部】	
男	
学生1	こういう呼びかけは続けるべきである。
学生2	喫煙者だけ集めてやってほしい。
学生3	日本の医療と世界の医療、都市部とそれ以外の医療(偏在について)
学生4	性病
学生5	非喫煙者をよぶのはどうかと思う。
学生6	今後ともこの活動をつづけてほしいと思う。
学生7	「刷り込み」ではなく、「説明」による講習にして欲しい。
学生8	タバコの話が多いので違う話がいいなと思いました。
学生9	早く全面禁煙にしましょう。
学生10	なぜ、すってしまうのか、やめられないのか
学生11	タバコによる精子への影響。
【医学部】	
女	
学生12	喫煙者の友人をつくるなというよりも、喫煙者の先輩を何とかしてほしい。先輩だと、やはり言いにくいところがある。
学生13	長崎大学のような取り組みが行われてほしいと願う。
学生14	教員でタバコを吸っている人がどのくらいの割合いるのかを調べて、講義などで取り上げてほしい。
【歯学部】	
男	
学生15	煙草と良く似ているアロマパイプの害について
学生16	能動喫煙の被害について
学生17	講師を変えるか、希望者制或いは、愛煙家のみにして欲しい。 資料だけで良い。講師が黒い典型的な例。
学生18	統合失調症について取り上げてほしい。
学生19	全く関係ないのですが、人の集中力の持続時間及びその時間ののぼし方について講習会があればよいと思います。
学生20	ゲームの依存について
学生21	ニコチンの依存もあると思うが、タバコと吸うのがカッコイイというように思っている人もいると思うので、そういった社会的な風潮もあってタバコを吸う人がいると考える。よって、社会的な風潮を変えていかねばいけないと思った。
【歯学部】	
女	
なし	

【薬学部】	
男	
学生22	歩きタバコはいけないと思う。タバコ吸うのは自由だと思うが、周りに迷惑かけない方法はないのかと思った。
学生23	歩きタバコをしている人を法律でさばけるのでしょうか。
【薬学部】	
女	
なし	
【看護学部】	
男	
なし	
【看護学部】	
女	
学生24	日本における、たばこの広告や注意書きについてのことをもっと取り上げてほしいと思いました。
学生25	救命救急

### 3. 職員健康管理実施状況

#### 1) 職員健康診断

##### (1) 一般健康診断

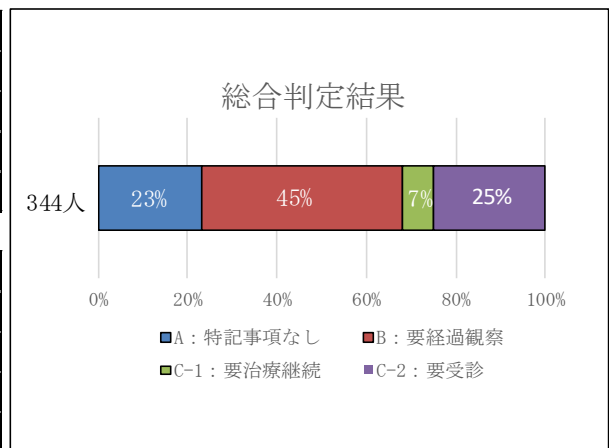
##### ① 雇入時健康診断

###### <健診項目>

既往歴および業務歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、尿検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、心電図検査、内科診察、Tスポット検査、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘抗体検査

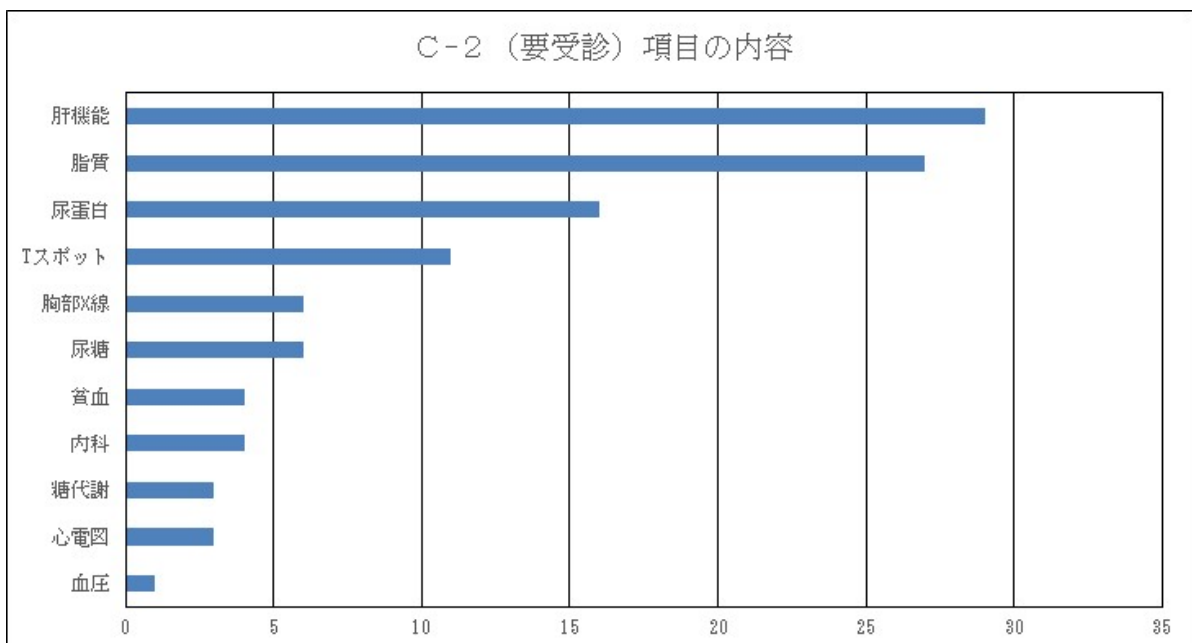
	正規職員	臨時職員	合計
対象者	284	60	344
受診者	284	60	344
未受診者	0	0	0
受診率	100.0%	100.0%	100.0%

	正規職員	臨時職員	合計
A：特記事項なし	65	14	79
B：要経過観察	133	23	156
C-1：要治療継続	15	8	23
C-2：要受診	71	15	86



##### C-2（要受診）報告書提出状況

	正規職員	臨時職員	合計
提出者	37	15	52
提出率	52.1%	100.0%	60.5%



n = 110 (複数該当あり)

## ② 定期健康診断

### <健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲（35歳・40歳以上）、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、尿検査、心電図検査（35歳・40歳以上）、内科診察、眼底検査（前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMIの4項目有所見者）

### <実施日>

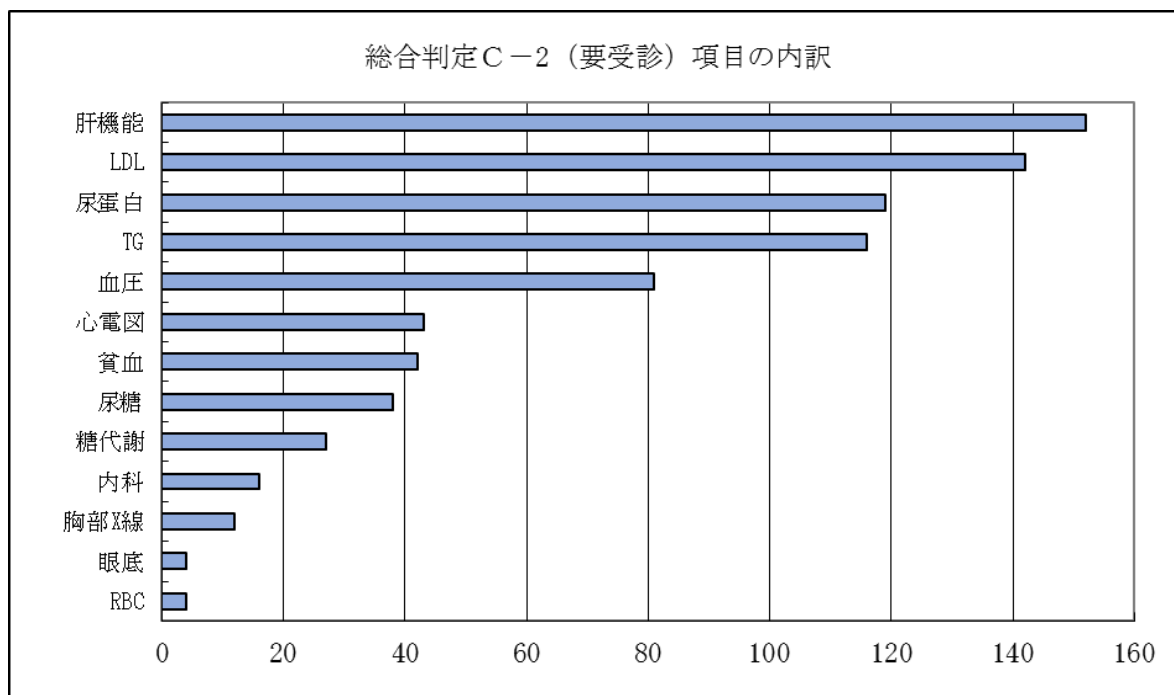
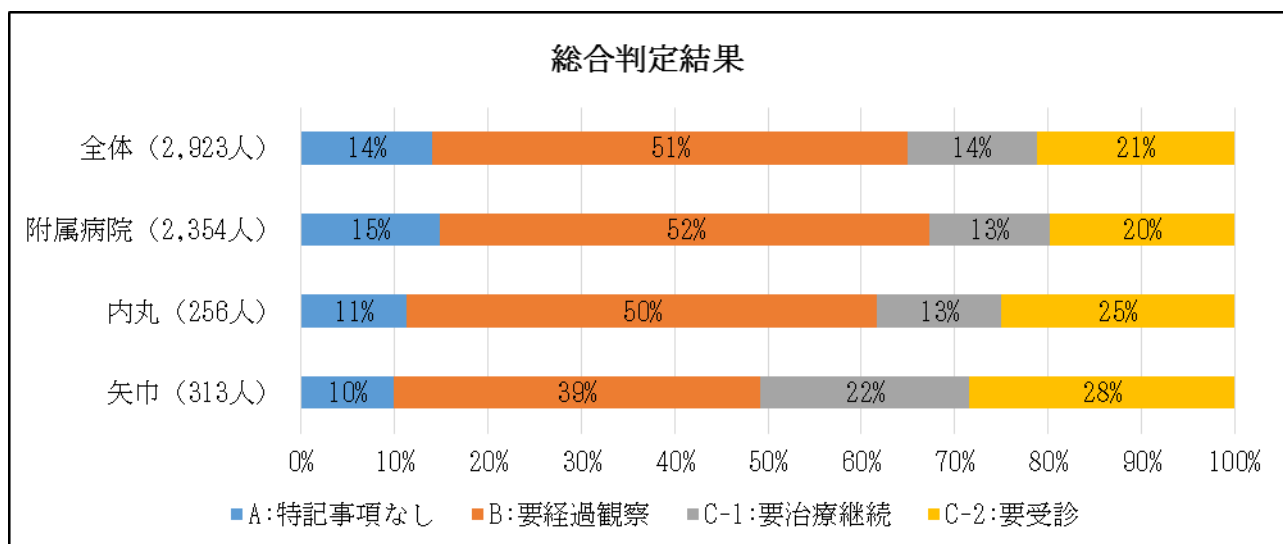
内丸キャンパス：令和元年5月27日（月）～5月31日（金）

矢巾キャンパス：平成元年6月3日（月）、6月4日（火）

	附属病院	内丸	矢巾	全体
対象者	2,354	256	314	2,924
受診者	2,354	256	313	2,923
未受診者	0	0	1	1
受診率	100.0%	100.0%	99.7%	99.9%

### C-2（要受診）報告書 提出状況

C-2	620
提出者	303
提出率	48.9%



n = 620 (複数該当あり)

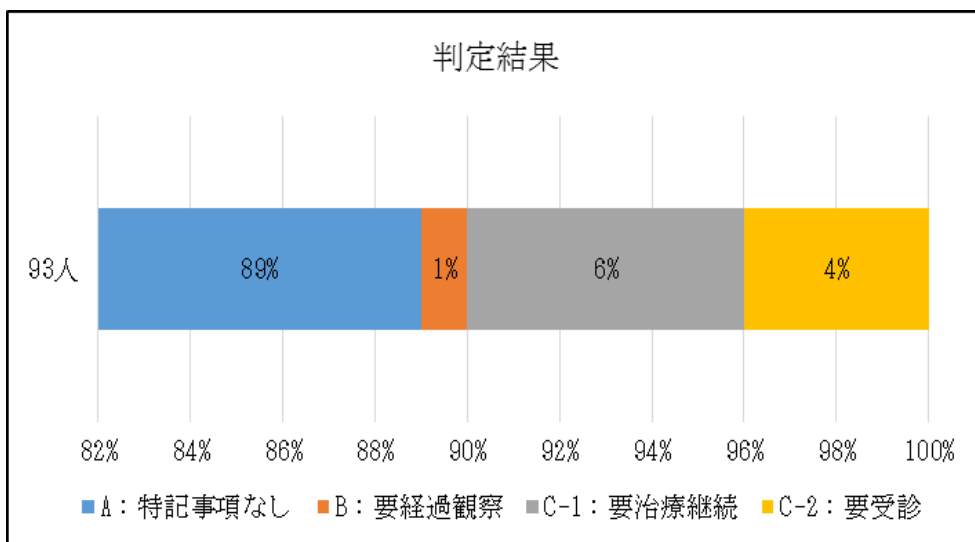
各項目別判定結果

<眼底検査> 前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMI の4項目有所見者

対象者	98
受診者	93
未受診者	5
受診率	94.9%



A：特記事項なし	83
B：要経過観察	1
C-1：要治療継続	5
C-2：要受診	4

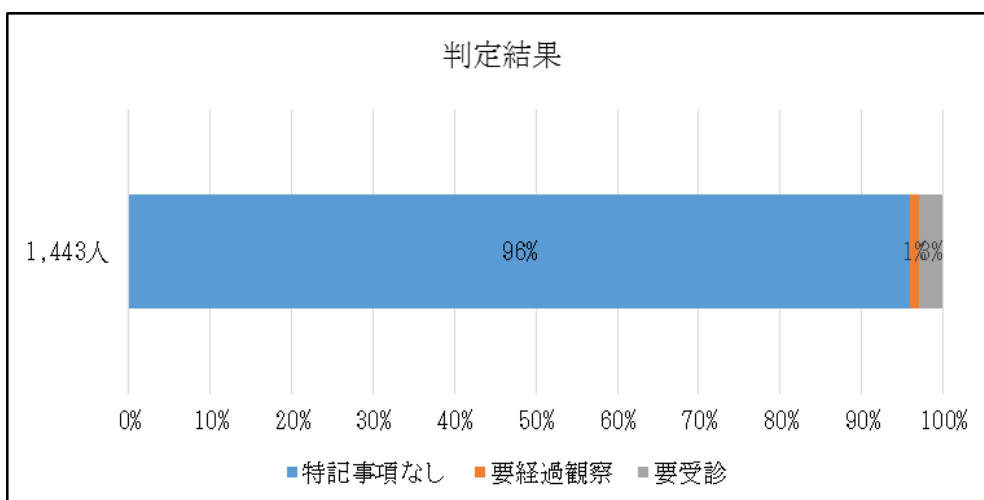


<心電図検査> 35歳・40歳以上

対象者	1,444
受診者	1,443
未受診者	1
受診率	99.9%



特記事項なし	1,391
要経過観察	9
要受診	43



### ③ 特定業務従事者健康診断（特殊健康診断等）

#### <健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、視力、聴力、血圧、尿検査、内科診察  
 ※血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、※心電図検査（35歳・40歳以上）  
 ※は、産業医の判断で省略できる

#### <実施日>

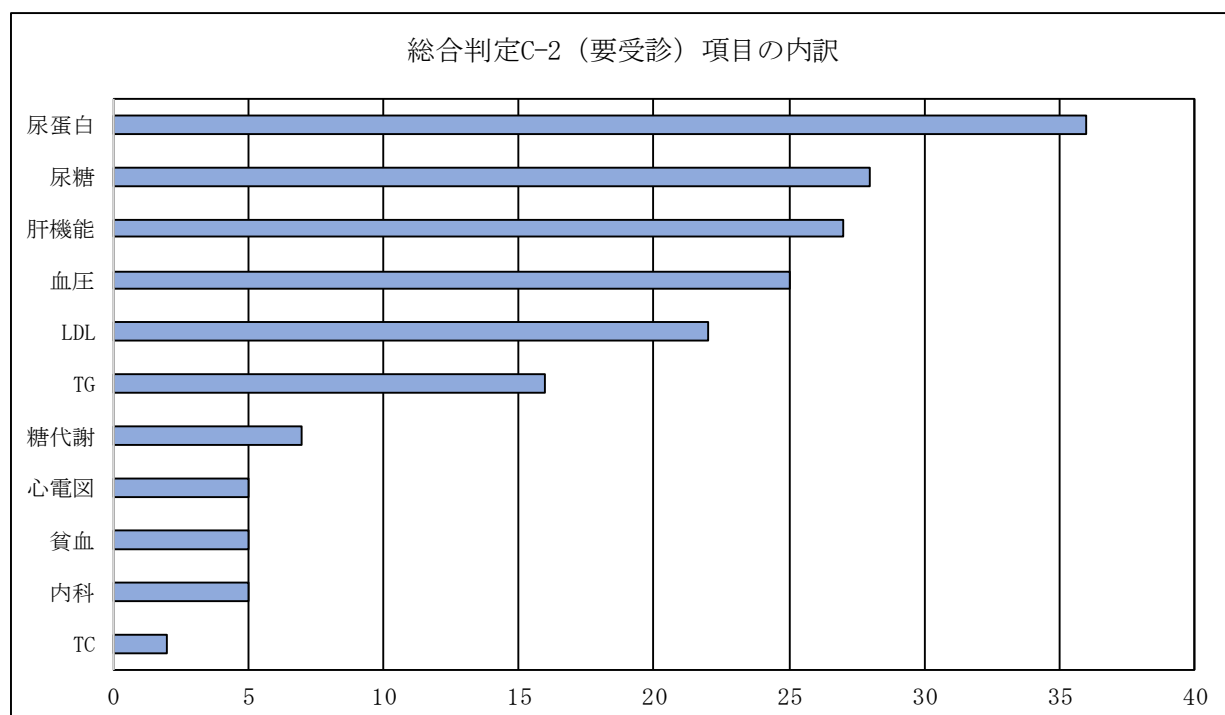
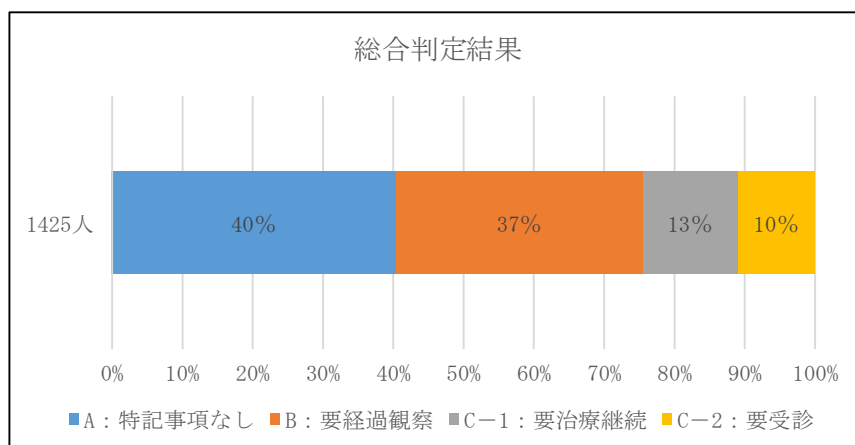
矢巾地区：令和元年11月19日（火）～22日（金）

内丸地区：令和元年11月19日（火）～29日（金）

対象者	1,425
受診者	1,425
未受診者	0
受診率	100.0%

#### C-2（要受診）報告書 提出状況

C-2	157
提出者	29
提出率	18.5%



n = 157（複数該当あり）



(2) 特殊健康診断

① 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

<実施日 (上期) >

令和元年5月27日(月)～31日(金)、6月3日(月)～4日(火)

対象者	188
受診者	188
受診率	100.0%



管理A	162
管理B	26
管理C	0
管理R	0
管理T	0

<実施日 (下期) >

令和元年11月19日(火)～22日(金)、25(月)～29(金)

対象者	203
受診者	203
受診率	100.0%



管理A	191
管理B	12
管理C	0
管理R	0
管理T	0

管理A	特殊健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B	検査項目に異常を認めるが、産業医が精査を必要としないと判断した者 (管理Cには該当しないが、当該因子による疑いのある異常が認められる者)
管理C	当該因子による疾患に罹患している者
管理R	当該因子によらないが、曝露により増悪するおそれがある疾病・異常を認める場合
管理T	当該因子によらない疾病・異常を認める場合 (当該疾病に対する療養その他の処置を必要とする)

② 電離放射線健康診断

<実施日 (上期) >

令和元年5月27日(月)～6月4日(火)

<判定結果>

対象者	516
受診者	516
受診率	100%



A: 特記事項なし	516
B: 要経過観察	0
C: 要治療・要精密検査	0
D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

<実施日 (下期) >

令和元年11月19日(火)～22日(金)

<判定結果>

対象者	473
受診者	473
受診率	100%



A: 特記事項なし	473
B: 要経過観察	0
C: 要治療・要精密検査	0
D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

### ③ 石綿健康診断

<実施日（上期）>

令和元年 5 月 27 日（月）～31 日（金）

対象者	27
受診者	27
受診率	100.0%



管理A	27
管理B-1	0
管理B-2	0
管理C	0
管理R	0
管理T	0

<実施日（下期）>

令和元年 12 月 2 日（水）～6 日（金）

対象者	26
受診者	26
受診率	100.0%



管理A	26
管理B-1	0
管理B-2	0
管理C	0
管理R	0
管理T	0

管理A	第一次健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B-1	第一次健康診断のある検査項目に異常を認めるが、医師が第二次健康診断を必要としないと判断した者
管理B-2	健康診断の結果、管理Cには該当しないが、当該因子によるかまたは当該因子による疑いのある異常が認められる者
管理C	第二次健康診断の結果、当該因子による疾患に罹患している者
管理R	健康診断の結果、当該因子による疾病または異常を認めないが、当該業務に就業することにより増悪するおそれのある疾病にかかっている場合または異常が認められる者
管理T	健康診断の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合または異常が認められる者（管理Rに属するものを除く）

(3) その他

① VDT 作業健康診断

<実施日> 令和元年 5 月 22 日 (水) ~6 月 4 日 (火)

VDT 作業健康	3,194 名
二次検診対象者 (面接希望者)	3 名
二次検診実施者	2 名

② 胃がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 令和元年 5 月 27 日 (月) ~6 月 14 日 (金)

対象者	1,388	⇒	異常なし	295
受診者	386		要経過観察	81
受診率	27,8%		要精密検査	10

③ 大腸がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 令和元年 12 月 2 日 (月) ~10 日 (火)

<矢巾>

対象者	1,116	⇒	異常なし	327
受診者	343		要精密検査	16
受診率	30,7%			

<内丸>

対象者	265	⇒	異常なし	91
受診者	97		要精密検査	6
受診率	36,6%			

④ 結核接触者健診

発症なし

## 2) 各種ワクチン接種

### (1) B型肝炎ワクチン接種

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：令和元年5月27日～6月4日

対象者 (希望者)	検査実施者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
		陽性	不十分	陰性
1,195	1,168	766	195	207

<ワクチン接種対象者>

402名：抗体価不十分・陰性と判定された職員（事務職等18名を除く）

<日程>

ワクチン接種1回目	7月23日、24日
ワクチン1回接種後抗体価検査・ワクチン接種2回目	8月20日、21日
ワクチン接種3回目	1月7日、8日
ワクチン3回接種後抗体価検査	2月4日、5日
ワクチン追加接種	2月25日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3月24日、25日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	138	98	88	88	0	0
1回倍量接種	57	37	33	33	0	0
3回接種	191	76	71	65	4	2
3回接種後追加接種	6	2	2	0	0	2

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された職員

### (2) C型肝炎抗体検査

<実施日> 令和元年5月27日（月）～6月4日（火）

<判定結果>

対象者(希望者)	1,208	⇒	陰性	1,158
検査実施者	1,160		疑陽性（要受診）	2

(3) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体価検査およびワクチン接種

<平成31年4月1日在籍者>

	麻疹	風疹	流行性耳下腺炎	水痘
対象者	3,284	3,284	3,284	3,284
実施者	2,960	2,960	2,960	2,960
要ワクチン者	1,781	722	1,257	118
接種者	483	209	308	28
接種率	27.1%	28.9%	24.5%	23.7%
抗体価保有率	56.1%	82.7%	67.9%	97.0%

※抗体価保有率=[(実施者-要ワクチン)+接種者]/実施者×100

<平成31年4月2日以降採用者>

	麻疹	風疹	流行性耳下腺炎	水痘
対象者	85	85	85	85
実施者	85	85	85	85
要ワクチン者	57	27	38	2
接種者	32	18	23	1
接種率	56.1%	66.7%	60.5%	50.0%
抗体価保有率	70.6%	89.4%	82.4%	98.8%

※抗体価保有率=[(実施者-要ワクチン)+接種者]/実施者×100

(4) インフルエンザワクチン接種（職員・大学院生）

<接種日>内丸キャンパス：令和元年10月23日（水）・24日（木）

矢巾キャンパス：令和元年10月28日（月）～11月2日（土）

<職員・大学院生全体>

	対象者数	接種者数	対象者の接種率
合 計	3,157	2,729	86.4%

<地区別の詳細（病院は職種別）>

①附属病院（大学院生・職員）

	対象者数	接種者数	対象者の接種率
医 師	488	361	74.0%
看護職	1173	1087	92.7%
コメディカル	339	306	90.3%
医師以外の教員・事務・その他※	136	118	86.8%
合 計	2136	1872	87.6%

※その他：ボイラー技士、自動車運転手、技術員等

②内丸メディカルセンター（大学院生・職員）

	対象者数	接種者数	対象者の接種率
医 師	12	9	75.0%
歯科医師	141	101	71.6%
看護職	110	103	93.6%
コメディカル	127	113	89.0%
医師以外の教員・事務	21	19	90.5%
合 計	411	345	83.9%

③矢巾キャンパス（大学院生・職員）

	対象者数	接種者数	対象者の接種率
合 計	554	459	82.9%

④内丸キャンパス（職員）

	対象者数	接種者数	対象者の接種率
合 計	56	53	94.6%

<インフルエンザ発生状況>

	インフルエンザワクチン接種				インフルエンザ発症者 (A型・B型・インフルエンザ様 症状)		
	対象者数	接種者数	未接種者数	接種率	発症者数		発症率
					ワクチン接種者数		
職員（大学院生含む）	3,157	2,729	428	86.4%	115	104	3.6%
学生	2,157	1,748	409	81.0%	32	26	1.5%
その他（希望者）	458	436	22	95.2%	8	8	1.7%
合計	5,772	4,913	859	85.1%	155	138	2.7%

※その他：聴講生、研究員・非常勤医師・研究捕手、業務委託・派遣職員、他団体  
 ※学生1名：インフルエンザA型・B型の両方に同時感染のため「型」については重複させて計算

【職員・学生の詳細】

		インフルエンザワクチン接種				インフルエンザ発症者 (A型・B型・インフルエンザ様 症状)		
		対象者数	接種者数	未接種者数	接種率	発症者数		発症率
						ワクチン接種者数		
職員 (大学院 生含む)	病院職員	2,547	2,217	330	87.0%	106	96	4.2%
	病院職員以外	610	512	98	83.9%	9	8	1.5%
学生	医学部	798	576	222	72.2%	9	8	1.1%
	歯学部	330	268	62	81.2%	13	9	3.9%
	薬学部	615	496	119	80.7%	5	4	0.8%
	看護学部	274	269	5	98.2%	2	2	0.7%
	看護短大	35	35	0	100.0%	0	0	0.0%
	医療専門学校	105	104	1	99.0%	3	3	2.9%
総数		5,314	4,477	837	84.2%	147	130	2.8%

※職員に大学院生を含む  
 ※職員について：附属病院移転前後で地区編成変更の関係により、地区毎ではなく病院・病院以外で集計  
 ※歯学部学生1名：インフルエンザA型・B型の両方に同時感染のため「型」については重複させて計算

<内訳>

インフルエンザA型		インフルエンザB型		インフルエンザ様症状	
発症者数		発症者数		発症者数	
ワクチン接種者数		ワクチン接種者数		ワクチン接種者数	
86	79	14	14	15	11
27	22	4	4	2	1
8	8	0	0	0	0
121	109	18	18	17	12

インフルエンザA型		インフルエンザB型		インフルエンザ様症状	
発症者数		発症者数		発症者数	
ワクチン接種者数		ワクチン接種者数		ワクチン接種者数	
80	73	13	13	13	10
6	6	1	1	2	1
9	8	0	0	0	0
12	8	2	2	0	0
4	4	0	0	1	0
1	1	0	0	1	1
0	0	0	0	0	0
1	1	2	2	0	0
113	101	18	18	17	12

### 3) 長時間労働者への産業医による面接指導

※平成 31 年度から法改正により集計変更

※産業医面接は、本人希望と産業医の判断で必要と認めた者

<管理職者以外>

(単位：件)

対象月	対象者			面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者	上司 面接
	6ヶ月平均で 45時間以上	1ヶ月で 80時間以上	計				
4月	58	21	79	77	0	1	0
5月	58	22	80	79	1	1	0
6月	48	18	66	66	1	2	0
7月	59	23	82	81	1	1	0
8月	67	27	94	94	2	5	0
9月	66	56	122	121	2	14	1
10月	94	24	118	117	5	11	0
11月	96	10	106	105	2	6	0
12月	87	12	99	96	1	6	0
1月	83	3	86	84	1	1	0
2月	73	6	79	75	1	1	0
3月	58	16	74	74	1	2	0
計	847	238	1085	1069	18	51	1

<管理職者>

(単位：件)

対象月	対象者			面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者	上司 面接
	6ヶ月平均で 45時間以上	1ヶ月で 80時間以上	計				
4月	0	4	4	4	0	0	0
5月	0	2	2	2	0	0	0
6月	0	4	4	4	4	0	0
7月	0	10	10	10	0	0	0
8月	0	6	6	6	0	0	0
9月	36	10	46	46	2	5	0
10月	43	1	44	44	0	3	0
11月	36	1	37	37	1	3	0
12月	32	1	33	33	2	0	0
1月	21	0	21	21	0	0	0
2月	20	1	21	21	0	0	0
3月	21	1	22	22	0	0	0
計	209	41	250	250	9	11	0

※管理職者は平成 31 年度から集計開始



#### 4) ストレスチェック

<実施期間>

令和元年6月13日(木)～6月26日(水)

<実施状況>

	対象者数	受検者	受検率
内丸	2,566	1,525	59,4%
矢巾	354	272	76,8%
合計	2,920	1,797	61,5%

<面接指導期間>

令和元年7月10日(水)、7月11日(木)、7月12日(金)、7月23日(火)、7月29日(月)  
7月30日(火)、8月23日(金)

#### 5) 職場巡視

<実施日>

令和元年11月28日(木)

<巡視内容>

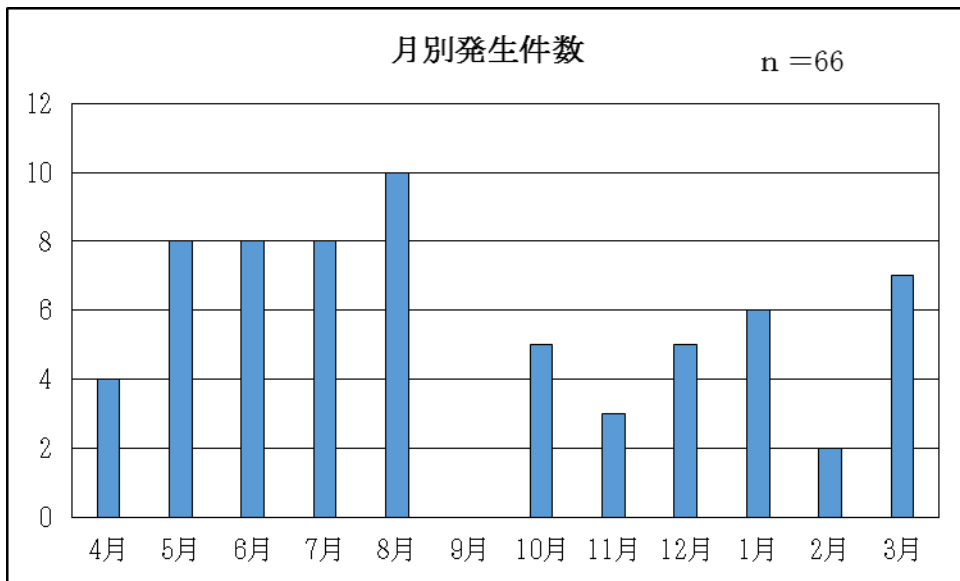
- ・温度、湿度、照度、騒音、整理整頓等について
- ・薬品の管理環境の状況について
- ・情報機器作業環境について
- ・有機溶剤・特定化学物質使用の有無及び作業状況について
- ・作業の導線など

<巡視場所>

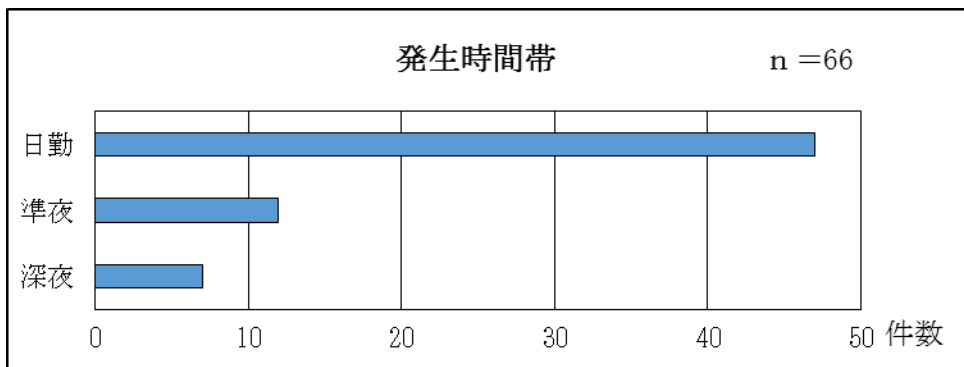
- ①薬用植物園
- ②動物研究センター

6) 針刺し粘膜暴露事故対応

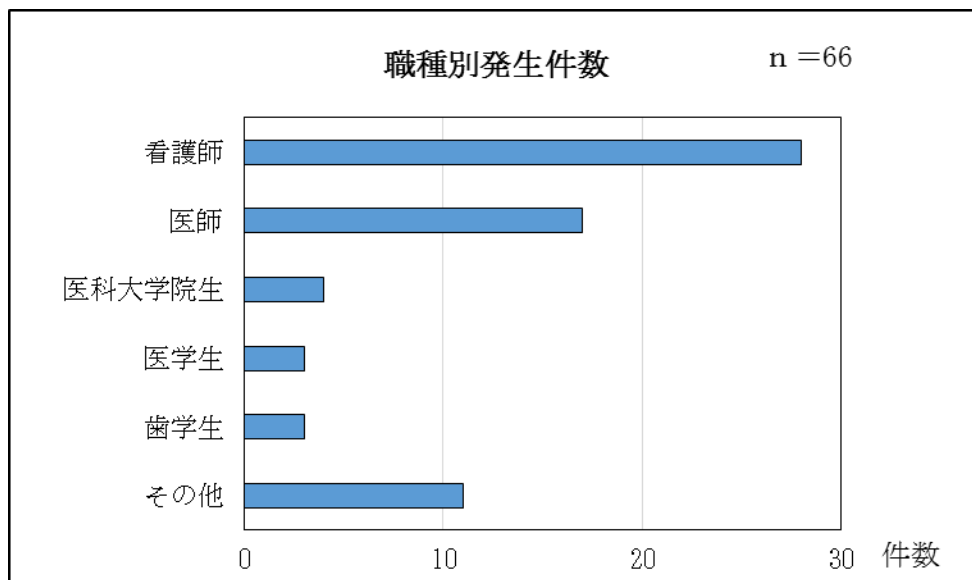
<月別発生件数>



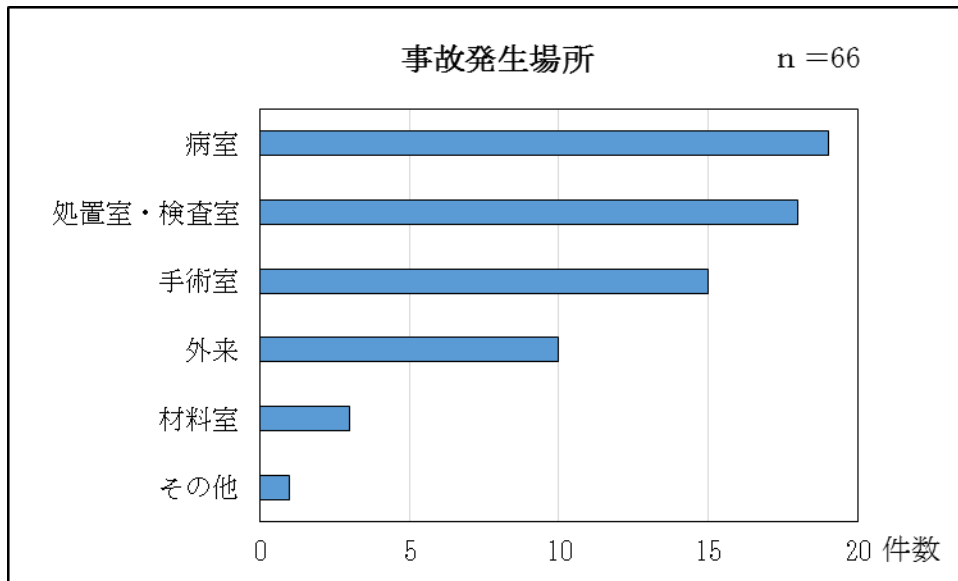
<発生時間帯>



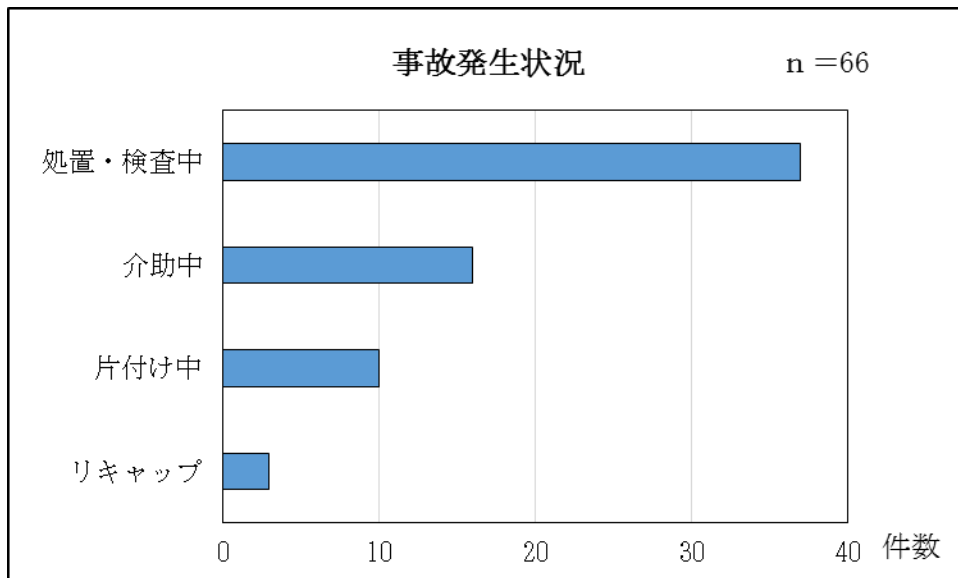
<職種別発生件数>



<事故発生場所>



<事故の発生状況>



## 7) 禁煙対応

### <禁煙パトロール>

4月から大学敷地内全面禁煙を受けパトロールを開始

毎月1回 30分程度 大学キャンパス内及び大学周辺道路

※清掃活動を兼ねて実施

日 時		参加人数
4月16日(火)	16時～16時30分	13人
5月14日(火)	15時40分～16時10分	11人
6月18日(火)	16時～16時30分	19人
7月30日(火)	16時～16時30分	20人
8月27日(火)	16時～16時30分	16人
9月24日(火)	16時～16時30分	19人
10月15日(火)	12時～12時20分	12人
11月12日(火)	12時30分～12時50分	10人
12月24日(火)	12時30分～12時50分	14人
1月28日(火)	12時30分～12時50分	13人
2月18日(火)	12時30分～12時50分	12人
3月17日(火)	12時30分～12時50分	13人

### <ポスター掲示>

- ①禁煙パトロール
- ②世界禁煙デー・禁煙週間

### <健康管理センターだよりで周知>

- ①禁煙パトロール
- ②禁煙支援のお知らせ

### Ⅲ 平成 31 年度／令和元年度 健康管理センター利用状況

### Ⅲ 健康管理センター利用状況

#### 1. 健康相談

##### 1) 学生

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
健康 相談	内科	医学部	3	6	4	3	4	1	6	6	7	3	2	1	46
		歯学部	6	6	5	4	1	2	4	4	2	3	0	0	37
		薬学部	7	17	10	0	2	7	4	8	4	1	1	2	63
		看護学部	2	0	1	8	0	0	0	2	5	1	0	0	19
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	外科	医学部	1	8	7	1	0	3	1	1	0	2	4	0	28
		歯学部	3	4	3	1	0	2	4	0	0	0	0	0	17
		薬学部	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8
		看護学部	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歯学部	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		看護学部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	医学部	0	1	0	1	0	1	1	2	2	1	0	1	10	
	歯学部	2	0	3	0	0	0	1	1	3	0	0	0	10	
	薬学部	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	看護学部	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	6	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
眼科	医学部	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	薬学部	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産婦人科	医学部	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	
	薬学部	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
	看護学部	0	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歯科	医学部	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科	医学部	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	医学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談の内容	医学部	2	5	4	2	1	0	0	1	4	5	5	1	30	
	歯学部	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
	薬学部	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	
	看護学部	3	0	1	4	0	1	0	1	0	0	0	0	10	
	専門学校・看護短大等	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
健康診断 ワクチン接種 関連相談	医学部	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5	
	歯学部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	
	薬学部	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	
	看護学部	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	
	専門学校・看護短大等	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	5	
健康診断 事後指導	医学部	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	歯学部	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
	薬学部	0	0	4	1	0	0	2	0	0	0	0	0	7	
	看護学部	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学校医相談	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康測定 (身長・体重・血圧・視力等)	医学部	1	57	15	12	0	0	0	0	0	0	0	0	85	
	歯学部	0	29	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	38	
	薬学部	0	69	32	10	0	0	4	0	0	0	0	0	115	
	看護学部	2	46	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
	専門学校・看護短大等	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
その他	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		45	280	122	61	10	25	30	30	30	16	14	23	686	

※件数は延件数

	学生
健康診断個人票発行	467

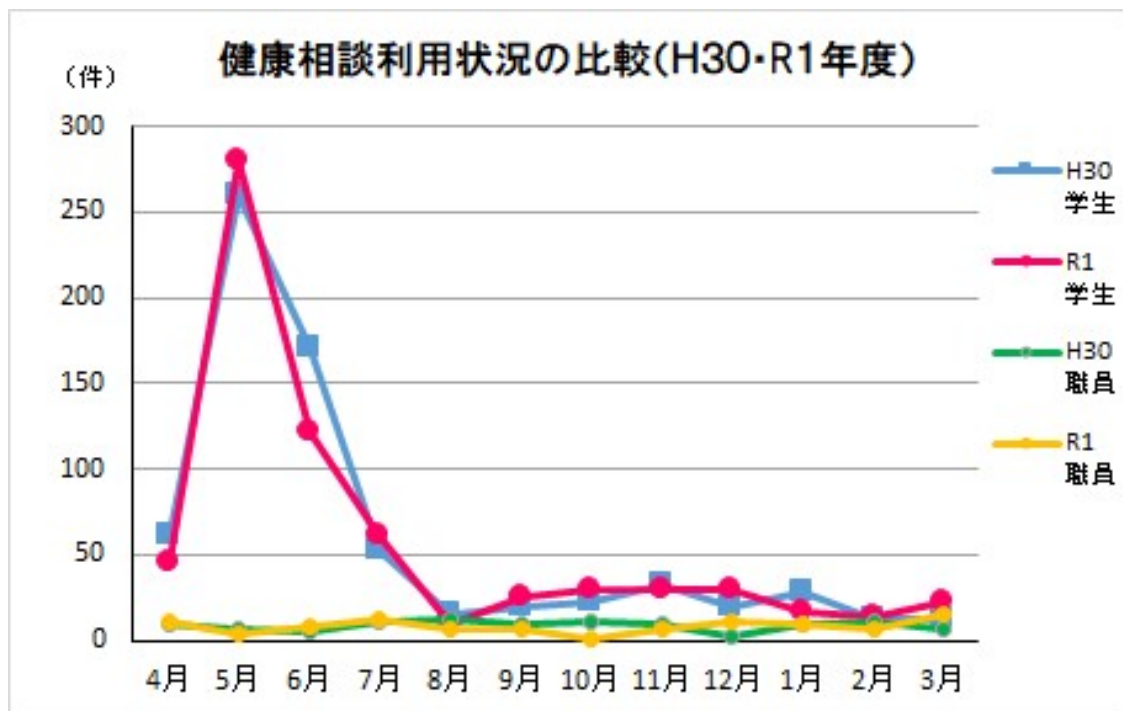
2) 職員

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談項目	健康相談	内科	2	1	1	3	1	2	1	3	6	2	1	2	25
		外科	1	0	0	1	2	1	0	1	0	0	1	2	9
		耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		皮膚科	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5
		眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		産婦人科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
		歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談的内容	1	2	2	0	2	0	0	2	4	5	4	3	25	
	健康診断ワクチン接種関連相談	0	1	1	2	2	1	0	0	0	2	0	3	12	
	健康診断事後指導	0	0	2	4	0	3	0	0	0	0	0	1	10	
	産業医相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康測定(身長・体重・血圧・視力等)	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
計	11	4	8	12	7	7	1	7	11	9	7	15	99		

※件数は延件数

	職員
健康診断個人票発行	178

2. 健康相談利用状況の比較



### 3. 心理相談（健康管理センター相談室）

#### 1) 学生

令和元年度相談室利用状況

		医学部	歯学部	薬学部	看護学部	看護短大 専門学校等	計
精神保健	延相談件数	52	10	55	17	4	138
	利用者数	7	4	18	3	2	34
パーソナリティ	延相談件数	18	6	26	1	9	60
	利用者数	7	3	11	1	3	25
適応	延相談件数	18	7	17	12	4	58
	利用者数	12	3	12	4	3	34
修学	延相談件数	9	15	65	7	6	102
	利用者数	5	6	16	2	1	30
進路	延相談件数	1	9	4	1	0	15
	利用者数	1	2	3	1	0	7
学生生活	延相談件数	12	0	0	0	0	12
	利用者数	3	0	0	0	0	3
コンサルテーション 情報共有	延相談件数	76	85	160	31	23	375
	利用者数	17	7	19	9	5	57
ハラスメント	延相談件数	0	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0	0
学校医相談	延相談件数	3	3	16	1	1	24
	利用者数	3	1	11	1	1	17
その他	延相談件数	8	4	7	0	0	19
	利用者数	8	4	5	0	0	17
計	延相談件数	121	54	190	39	24	803
学生利用者の実人数		27	13	32	8	7	87

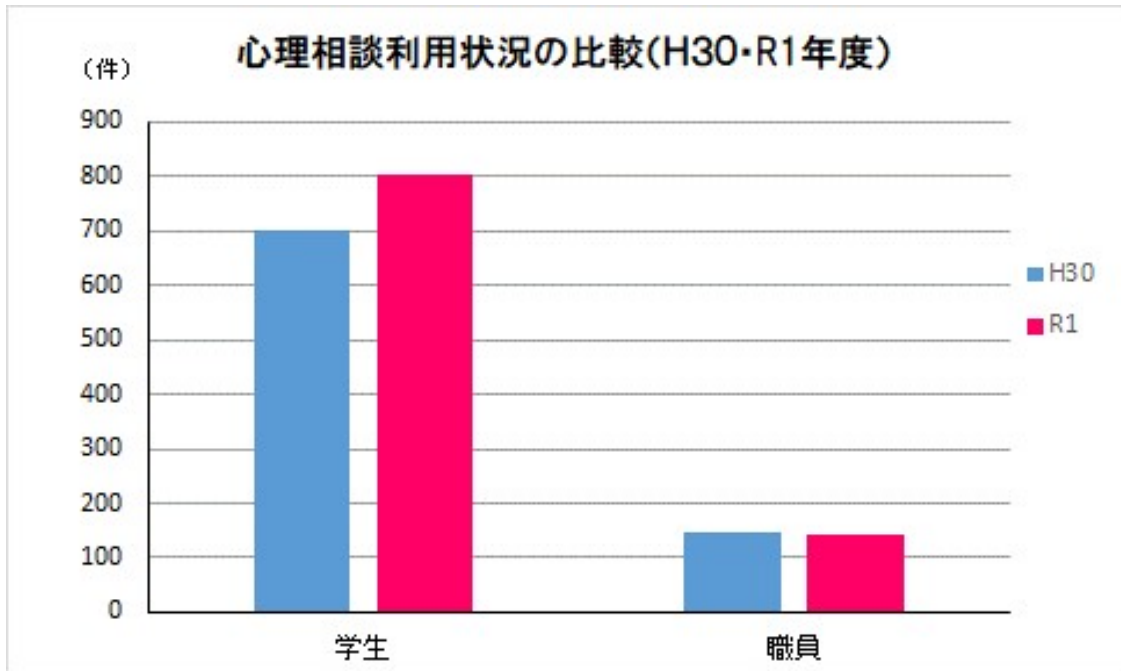
#### 2) 職員

令和元年度相談室利用状況

精神保健	延相談件数	42
	利用者数	14
パーソナリティ	延相談件数	9
	利用者数	3
職場不適応	延相談件数	49
	利用者数	20
家庭問題	延相談件数	8
	利用者数	2
生活相談	延相談件数	2
	利用者数	2
ハラスメント	延相談件数	0
	利用者数	0
コンサルテーション 情報共有	延相談件数	30
	利用者数	14
産業医相談	延相談件数	1
	利用者数	1
その他	延相談件数	0
	利用者数	0
計	延相談件数	141
学生利用者の実人数		36



#### 4. 心理相談利用状況の比較



#### 5. 心の健康問題により休業した職員の職場復帰支援

本学の職員で心の健康問題を理由に病気休暇が1ヵ月を超える者を対象に、円滑に職場復帰し、業務が継続できるよう支援を実施。

対応件数（平成31年4月～令和2年3月）

対象者	月別対応件数内訳（延件数）												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
39名	32	39	42	67	49	34	75	62	59	33	39	50	581

対象者の支援経過（令和2年3月31日現在）

復帰（支援終了）	復帰（支援継続）	退職	病休中
16	4	7	12

## IV 平成31年度／令和元年度 メンタルヘルス支援

## IV メンタルヘルス支援

### 1. セミナー

(令和1年度 対象：学生)

開催日	内 容	場 所	参加人数
12月10日	勉強のやる気（モチベーション）や集中力の高め方	矢巾キャンパス 東研究棟1階 SGL40・41・42室	2名
12月18日	不安や怒りの感情との付き合い方	矢巾キャンパス 東研究棟1階 SGL45・46室	2名

(令和1年度 対象：職員)

当初実施予定で検討を進めていたが、附属病院の移転に伴う状況や新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和1年度での実施を見合わせた。

### 2. メンタルヘルス講義（対象：全学部1年生）

開催日	テーマ	講 師	参加人数
6月6日	学生生活とメンタルヘルスについて	精神科学学校医 山家 健仁	307名
	大学生活を通して自分と向き合うこと - 模索しながら自己理解を深めることのススメ -	主任臨床心理士 島山 秀樹	
	DVをしない・されないために 心理テスト結果の見方	臨床心理士 氏家 真梨子	

### 3. ラインケア研修

本学の管理職者を対象に、管理職の位置づけ・役割を理解するとともに、ラインケアに必要な知識・スキルを習得し、大学組織全体としての共通理解を図ることを目的に、以下の内容で研修を企画・実施した。開催にあたって人事職員課と協議し、共催の形式で実施した。例年昇格者を対象とした基礎編（年1回）と、基礎編を受講した管理職者向けの応用編（年2回）を実施してきたが、令和1年度は附属病院の移転を考慮し、基礎編のみを実施した。

開催日	テーマ	講師	参加人数
7月30日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケアの基礎知識	岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 藤井由里	28名

#### 4. 「教職員のための学生相談ハンドブック」の改訂

平成 28 年 3 月に発刊した「教職員のための学生相談ハンドブック」に関して、年度内の改定に向けて、教養教育センター中島学生副部長、藤澤講師（心理学・行動科学分野）、学事課の協力の下、改定案の作成作業を進めた。当初の作成工程に遅れが生じ、3 月にハンドブック作成委員会を開催した。令和 2 年 4 月に発刊し、6 月に学生支援に携わる教職員を対象に配付した。配付と同時に学内 Webclass に掲載している内容の更新を行った。

#### 5. 学生のインターネット使用状況調査

教養教育センター学生専門委員会にて、インターネット依存を疑われる学生の問題について話題に挙がり、実態把握と啓発について健康管理センターに依頼があったため、インフルエンザワクチン接種時に全学部学生を対象にアンケートを実施した。学生数 2090 名中アンケートの提出数は 1422 名（提出率 68.0%）で、うち無回答 82 名を除く、1340 名を調査対象とした。インターネットの使用率は、1299 名（調査対象全体の 96.9%）で、1 週間あたりの利用日数は、毎日が 1230 名（調査対象全体の 91.8%）、1 日あたりの利用時間は個人差が見られ、一番割合が高かったのは、2-3 時間の 353 名（調査対象全体の 26.3%）であった。利用機器は、スマートフォンの使用率が 1198 名（対象者全体の 89.4%）で、6 割程度が他の機器（PC、タブレット等）と併用している状況であった。インターネット依存が疑われる学生は 145 名（調査対象全体の 10.8%）であった。調査結果は学内の関係者・関係部署に報告し、また結果に基づき、健康管理センターだよりにて啓発を行った。

#### 6. 新型コロナウイルス感染症に伴う対応

新型コロナウイルスの感染症の発生に伴い、ストレスへの対処や心理教育的な内容を踏まえた啓発物の作成を行い、3 月以降で学生・職員に対して通知、掲示、ホームページを活用しての周知を図った。

#### 7. 研究

学生の臨床実習にかかるストレスとサポートに関して、以下の研究に携わった。なお、論文は岩手医科大学教養教育研究年報（2019-12 発行. 54 号. pp35-45）に掲載されており、岩手医科大学リポジトリから閲覧可能である。

タイトル：看護系学部における実習ストレスへのサポートに関する文献検討

藤澤美穂、氏家真梨子、畠山秀樹、高橋智幸、遠藤太、松浦誠

岩手医科大学リポジトリ（URL）

[https://iwatemed.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=10154&item\\_no=1&page\\_id=119&block\\_id=139](https://iwatemed.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=10154&item_no=1&page_id=119&block_id=139)

V 平成 31 年度／令和元年度  
健康教育・啓発活動

## V 健康教育・啓発活動

### 1. 健康教育

#### 1) 学生の健康管理について

平成 31 年 4 月 3 日（水） 対象者：入寮生（医・歯・薬・看）

担当：保健師 青木 雅美

内容：寮での共同生活、快眠のための生活ポイント、バランスのとれた食事、体調不良時の受診方法等

平成 31 年 4 月 5 日（金） 対象者：医療専門学校新入生

担当：保健師 藤井 スイ子

主任臨床心理士 畠山 秀樹

内容：健康管理センター利用案内、体調不良時の受診方法、相談室の利用案内

平成 31 年 4 月 9 日（火） 対象者：新入生（医・歯・薬・看）

担当：主任保健師 村山 美保

臨床心理士 氏家 真梨子

内容：健康管理センター利用案内、体調不良時の受診方法、相談室の利用案内

令和元年 6 月 28 日（金） 対象者：新入生（医・歯・薬・看）、職員の希望者

講師：衛生学公衆衛生学講座 坂田 清美 教授

担当：保健師 藤井 スイ子

テーマ：「受動喫煙について」

スモーカーライザー・禁煙補助剤・ポスター掲示等体験コーナー設置

令和元年 6 月 28 日（金） 教養教育センターとの情報交換会

参加者：教養教育センター教員 9 名、教務課事務スタッフ 3 名、

健康管理センタースタッフ 6 名

内容：1 年生に関する情報交換

令和元年 12 月 17 日（火） 対象者：退寮生（医・歯・薬・看）※ユニットリーダー・希望者  
担当：保健師 小原 真綾  
内容：基本的な食生活の留意点

月 1 回 開催 各教務課・学事課との情報交換会  
参加者：各課課長、健康管理センタースタッフ 3 名  
内容：学生に関する情報交換

## 2) 職員の健康管理について

平成 31 年 4 月 3 日（水） 対象者：新入職員  
研修担当：主任保健師 村山 美保  
主任臨床心理士 畠山 秀樹  
内容：健康管理センター利用案内、業務紹介、感染予防対策、メンタルヘルス支援

令和元年 11 月 1 日（金） 対象者：途中採用職員  
研修担当：主任保健師 村山 美保  
主任臨床心理士 畠山 秀樹  
内容：健康管理センター利用案内、業務紹介、感染予防対策、メンタルヘルス支援

## 3) メンタルヘルス関連研修

令和元年 6 月 14 日（金） 対象者：看護部・教育担当者  
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹  
テーマ：教育担当者としてのストレスマネジメント  
- ストレスへの気づきと対処行動の実践 -

令和元年 6 月 24 日（月） 対象者：新人看護師  
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹  
テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成元年 6 月 28 日（金） 対象者：学生支援に携わる教職員  
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹  
テーマ：学生の命にかかわる場面での対応をめぐって

## 2. 啓発活動

### 1) 健康管理センターだより



### 学校医からのご挨拶



工藤 雅子  
内科学講座 神経内科・老年科分野 講師

平成 31 年 4 月より学校医を拜命いたしました内科学講座神経内科・老年科分野の工藤雅子です。日常臨床においては、神経内科疾患全般の診療、特に慢性頭痛疾患の専門外来を担当しております。本学は現在医学部・歯学部・薬学部・看護学部の 4 つの学部を有し学生総数は 2100 名を超える規模となっているわけですが、学校医の職務の対象は 4 学部の学生と大学院生、関連専門学校に在籍するすべての学生です。職務内容としては学生の健康診断の結果判定、ワクチン接種、疾病の予防処置および保健指導など多岐に渡りますが、健康管理センター長の石垣泰教授ならびに専任スタッフの皆様にご指導・ご助言をいただきながら業務を遂行してまいりたいと存じます。微力ながら学生の皆さんが健康で快適な学生生活を送り、将来本学の理念の 1 つである“人間性豊かな医療人”としてご活躍されるための一助となれば幸いです。ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



秋山 真親  
内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野 助教

平成 31 年 4 月から学校医を拜命致しました、内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野の秋山真親と申します。これから 2 年間、2300 名におよぶ医学部・歯学部・薬学部・看護学部・岩手看護短期大学・医療専門学校の学生の皆様への健康管理についての業務を担わせて頂きます。皆様が心身共に健康で学業に邁進する一助となれば幸いと存じます。よろしく申し上げます。



## メンタルヘルスチェックが変わります

例年 4-5 月に実施している UPI (学生精神的健康調査) について、以下 3 点お知らせがあります。

### ▶ マークシート方式になります

昨年度までは、〇×を記入してもらっていましたが、今年度から下記のとおり、**マークシート方式**に変更することになりました。

#### 【 注意事項 】

- \* 記入は**黒鉛筆またはシャープペン**でお願いします
- \* 訂正は消しゴムで丁寧に消して下さい
- \* 用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください

### ▶ 全学生が対象になります

昨年度までは学部により対象学年が限定されていましたが、今年度から**全学部全学年**が実施対象となりました。

### ▶ 結果が返却されたら...

この UPI の結果は精神疾患等の有無を判断するものではありませんが、結果が返却されたら、自分自身のストレス状態を振り返ってみましょう。

合計点数の横に**☆印がついた学生**は、ストレスによる心身等への状態を確認したいので、**都合がつく日に相談室への来室またはご連絡をお願いします。**

(通常 10 分程度で終わります)

健康調査 U.P.I. これは、あなたの健康の理解と健康のための調査です。質問期によく読んで、あなたが最近 1 年くらいの間に、とまどを感じたり、経験したりしたことのある項目の横に、**はい**と記入してください。無知またはシャープペンシルでマークしてください。

はい	はい	はい	はい
1. 食欲がない	16. 不安感がある	31. 夢見して覚醒	46. 自分がいない
2. 疲労・集中力・意欲がある	17. 寝起きが辛い	32. 不安が強い、抑え込まれる	47. 驚く事や出来事が多い
3. 何ともなく疲労や下痢がしやすい	18. 息苦しさや息がこもる	33. 体が震えてつらくなり、たまに吐き気がする	48. 怖いや不安がくらくらする
4. 動悸や胸が苦しい	19. 胸が痛んだり、しめつけられる	34. 睡眠が浅くなる	49. 驚きや不安、びくつきや恐怖を感じる
5. いづれも体の調子がよい	20. いつも活動的である	35. 気分が晴れる	50. よく他人に助けられる
6. 不安や不満が多い	21. 気が小さくなる	36. なんとなく不安である	51. こたわりやすい
7. 誰かが助けてくれる	22. 眠れる	37. 寝て起ると落ちつかない	52. くり返し寝ないと思しい
8. 肩の痛みや腰痛は平常である	23. いらいらしやない	38. ものごとを記憶がもうでない	53. 男性が気になつてくる
9. 肩の痛みや腰痛は辛い	24. ねこにやうい	39. 怖ろしいものから逃げたい	54. つまらぬ事がある
10. 人に会いたくない	25. 涙がこぼれる	40. 他人が怒ることを恐る	55. 自分からいふことがない
11. 自分だけが得意に感じられる	26. 何もかもを覚えている	41. 他人が怒りやない	56. 他人に助けられる
12. やる気がでない	27. 記憶力が低下している	42. 気をまわしすぎる	57. 周囲の人の顔が気になつてくる
13. 意欲がなくなる	28. 機嫌が悪い	43. つまらぬことがある	58. 他人の行動が気になつてくる
14. 考えがまとまらない	29. 決断力がない	44. 自信を失う	59. 他人に相手にされない
15. 気分が落ち込みやすい	30. 人に頼りすぎる	45. とりこし迷惑をする	60. 気持ちが重くつらくなる

#### 【 結果返却の一部抜粋 】

内容	得点 / 満点
精神的身体的不調感	16
気分の落ちこみ	20
対人不安	10
強迫 (不合理なものにとらわれる) 傾向・備つきやすさ	10
合計	56 ☆





## 子宮頸がん検診のすすめ

子宮頸がんは 20 歳からの検診が推奨されています



### 子宮頸がんはこんな病気

誰でもなりえる！20代女性に急増中！

子宮頸がんは、子宮の入り口付近にできるがんです。発生の原因はヒトパピローマウイルス(HPV)に持続的に感染することと言われています。HPVはありふれたウイルスであり、性交渉の経験がある女性の50～80%はHPVの感染機会があると言われています。感染しても自覚症状はほとんどありません。一生のうちおよそ74人に1人が子宮頸がんと診断されています。(人口動態統計 2015) 特に20代の若い女性に急増しています。



### 早期発見のメリット

治療の身体的・経済的負担が軽い、将来の妊娠

子宮頸がんは一般的にゆっくりと進行するといわれています。早期に発見することで「死亡率の低下」、「治療の身体的、経済的負担が少なく済むことが多い」「子宮を残せる手術の場合、将来の妊娠出産が可能」などのメリットがあります。

### 子宮頸がん検診はどのような事を行うの？

問診・視診・細胞診が一般的検査方法

- 問診：月経周期等について質問に答えます。
- 視診：膣鏡と呼ばれるものを膣に挿入し、医師が子宮頸部を観察します。
- 細胞診：専用のブラシなどで子宮頸部をこすり、細胞を採取します。短時間で終了します。恥ずかしさもあるかもしれませんが、「がんになるかも」という可能性を考え、勇気を持って受けてみてください。



### 子宮頸がん検診は20歳から

市区町村のサイトを確認してみよう！

市区町村が実施しているがん検診には検診費用の補助があります。住んでいる市区町村によって自己負担する金額は異なります。例えば昨年度の盛岡市の子宮頸がん検診の場合、満20歳で健診費用が無料となる「がん検診無料クーポン券」が対象者に送付されます。市区町村のサイト等を確認し、有効に活用しましょう。20歳以上の女性は2年に1回の頻度で子宮頸がん検診を受ける事が推奨されています。



### 子宮頸がん予防ワクチン接種について

現在、厚生労働省では、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的には勧めていません。しかし、世界保健機構は接種を推奨し、多くの先進国では公的接種とされています。子宮頸がん予防ワクチンを希望する場合は科学的根拠に基づく知識と情報を得た上で受けた方がいいでしょう。より詳しい解説は日本産科婦人科学会ホームページ「子宮頸がん HPV ワクチンに関する最新の知識と正しい理解のために」をご覧ください。 <http://www.jsog.or.jp/>

一般の皆様へ → 公開情報 → 子宮頸がん HPV ワクチン

がん検診についてもっと詳しく知りたい方は・・・  
日本医師会ホームページ「知っておきたいがん検診」



<https://www.med.or.jp/forest/gankenshin/>  
※各自治体の検診窓口情報も載っています

紹介したHPは健康管理センターHPからもアクセス可能です

## 禁煙パトロール

矢巾キャンパスは4月から敷地内全面禁煙になりました。



過去のタバコのポイ捨てや敷地内周辺での喫煙を繰り返さぬよう、4月より各学部長、学生部長、副部長、事務員、健康管理センタースタッフ等で、禁煙意識の向上やマナーの啓発のため、禁煙パトロールを実施します。

TEL: 019-651-5111(代表) 内線 5022/5023(矢巾) 3816/3818(内丸)

E-mail: kenkou@j.iwate-med.ac.jp(健康管理センター代表) shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp(相談室専用)

hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp(保健師専用)

ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

発行: 岩手医科大学 健康管理センター





# 健康管理センターだより

28号 2019年4月1日発行



## 麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の抗体価検査を実施します！



麻疹・風疹の全国的な流行もあり、感染予防対策の一環として、大学負担で実施します。

### 対象

職員および大学院生  
研究員・非常勤医師・研究補手は除く

### 実施方法

健康診断の採血で抗体価を測定します。対象の方は、抗体価検査用のスピッツが1本追加されます。

- 4月1日在籍者：定期健康診断に併せて実施
- 4月2日以降採用者：雇入時健康診断に併せて実施



### 注意事項

必ず健康診断の期間中に採血を実施してください。未受診者対応期間では抗体価検査を受けることができません。



手続きや自己負担金はありません。  
健康診断を受けて抗体価を把握しましょう。

### ワクチン接種のお願い



抗体価検査の結果、基準に満たない場合はワクチン接種をお願いします。  
判定は日本環境感染学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン（第2版）」を参考に行います。教育および医療機関の職員、大学院生として、自分自身が感染源とならないためにも、積極的なワクチン接種が推奨されています。  
結果通知は、健康診断の結果に同封します。（定期健康診断時に実施した場合は、7月中旬ごろ）ワクチン接種が必要な場合は、【ワクチン接種報告書】を同封しますので、接種後、健康管理センターに提出してください。



### 1962（昭和37）年4月2日～1979（昭和54）年4月1日生まれの男性の方

この世代の男性は、風疹に対する免疫を持っていないことが多いです。風疹はせきやくしゃみなどのしぶきを吸い込んで感染するため、多くの人に感染させる可能性があります。妊娠早期の妊婦に風疹を感染させると、赤ちゃんが先天性風疹症候群になる可能性があります。



### 対象の男性はクーポン券を利用し風疹ワクチン接種

対象の男性は、風疹の抗体価検査を市町村発行のクーポン券を利用し無料で受けることができます。また、風疹ワクチンを接種したことがなく、抗体価がない場合はワクチン接種も無料です。健康診断時に検査を受け、その結果ワクチン接種が必要な場合は、無料で接種できる可能性もあるため、健康管理センターやお住まいの市町村に確認してください。



自分自身と周りの人を守るため、抗体価を把握しワクチン接種で免疫を獲得しましょう。



## 禁煙支援を行っています

スモーカーライザーで呼気中のCOの測定や、問診票でニコチン依存度チェックなどを行い、個別に適切な禁煙方法を選択できるよう、禁煙補助薬、禁煙外来など情報提供を行いスムーズな禁煙のお手伝いを行っています。昨今は禁煙治療（保険適用）で簡単にタバコをやめられるようになりました。お気軽にご相談ください。

<保健師専用アドレス>

hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp



## 禁煙パトロール

矢巾キャンパスは4月から敷地内全面禁煙になりました。過去のタバコのポイ捨てや敷地内周辺での喫煙を繰り返さぬよう、4月より各学部長、学生部長、副部長、事務員、健康管理センタースタッフ等で、禁煙意識の向上やマナーの啓発のため、禁煙パトロールを実施します。



## 長時間労働者への産業医面接（規程の改正）

働き方改革関連法案の成立に伴う労働安全衛生法の改正により、長時間労働の医師による面接指導の条件が変更になり、従来より短い残業時間でも産業医面接になります。

- |                  |   |                 |
|------------------|---|-----------------|
| ①1ヶ月で100時間を超えた者  | } | ⇒ 1ヶ月で80時間を超えた者 |
| ②2ヶ月平均で80時間を超えた者 |   |                 |
| ③6ヶ月平均で45時間を超えた者 |   | ⇒ 変更なし          |

## 新年度の始まりから移転へ向けて、普段以上にセルフケアの意識を!!

新年度が始まり、仕事を含めた生活全般に変化が生じる時期です。

仕事上では、組織の再編成、スタッフの異動に伴う新たな職場環境、役割の変化や担当業務の変更などの変化に対応しなければなりません。仕事外のプライベートの面でも、引っ越しや家族に生じた変化などに伴って、新たな生活を徐々に落ち着かせていくことが必要になります。さらに、今後の病院移転を控え、通常業務に対応しつつ、同時進行で移転に伴う変化にも対応していかなければなりません。



このように、今年度は様々な変化が重なってストレスを抱えやすい状況が続くため、今まで以上に自身のストレスの状態に早めに気づき、周囲にある資源を活用しながら、適切に対処・ケアしていくことが必要です。健康管理センター相談室では、臨床心理士(カウンセラー)が職員の方々のセルフケアをサポートしています。「相談室は病気の人が行くところ」と捉えている人もいますが、対人関係や家庭のことなど様々な困りごと、悩みごとに対応しておりますので、セルフケアの一つの資源としてご活用ください。

相談申込アドレス: [shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp)

メールに「所属、職名、名前、相談希望日時」をお知らせください。

QRコード(右)からアクセスし、メールフォーマットを活用して予約することも可能です。

※上記メールはカウンセラーしか閲覧できないものですので、ご安心ください。



TEL: 019-651-5111(代表) 内線 5022/5023(矢巾) 3816/3818(内丸)

E-mail: [kenkou@j.iwate-med.ac.jp](mailto:kenkou@j.iwate-med.ac.jp)(健康管理センター代表) [shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp) (相談室専用)

[hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp) (保健師専用)

ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

発行: 岩手医科大学 健康管理センター





# 健康管理センターだより

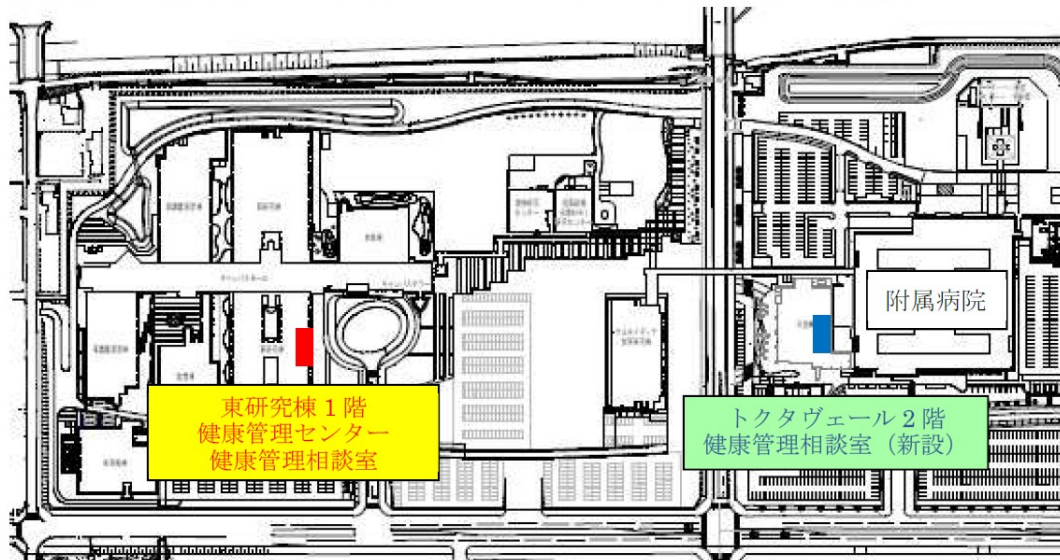


29号 2019年10月1日発行

## 健康管理センターは矢巾キャンパスのみの設置となります

### 場所

附属病院の移転に伴いまして、健康管理センターは矢巾キャンパスに集約されます。



### 証明書の発行

学生健康診断、入学時の麻疹等抗体検査及びワクチン接種・結核検査報告書、B型肝炎ワクチン接種などの証明書の発行は以下のとおりです。

#### <申請方法>

- ①健康管理センター（矢巾）に来室し、申請書に記入
  - ②内丸キャンパス教務課、医療専門学校事務室、看護短期大学事務室に来室し、申請書を記入
  - ③E-mailで申請書を送付 [kenkou@j.iwate-med.ac.jp](mailto:kenkou@j.iwate-med.ac.jp)
- ※申請書は健康管理センター、②の事務室、ホームページにあります。

#### <受取方法>

- ①健康管理センター（矢巾）に来室
- ②内丸キャンパス教務課、医療専門学校事務室、看護短期大学事務室に来室
- ③郵送（送付先を記入した返信用封筒に84円切手を貼付し、申請書と一緒に提出してください。）

### 相談室の新設と心理相談対応日等の変更について

附属病院の移転に伴い、トクタヴェール2階に新たに相談室（内線：4581）が設置されました。また、臨床心理士の心理相談対応日等が以下のとおり変更となりましたので、ご参照ください。なお、心理相談の詳細については、[shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp)にてお問い合わせ下さい。

		月	火	水	木	金	土
矢巾	トクタヴェール2階	畠山	畠山	畠山○	畠山	畠山	畠山●
	東研究棟1階	氏家	氏家○	氏家	氏家	氏家	氏家●
内丸	60周年記念館8階	1・3・5週	/	/	畠山	/	/
		2・4週	/	/	氏家	/	/

※原則開設時間は8：30-17：00、○の日は10：30-19：00、●の日は8：30-12：30（第1・4週）



## 禁煙パトロールを実施しています！

4月から、矢巾キャンパスは敷地内全面禁煙となり、タバコのポイ捨てや敷地内周辺での喫煙が懸念され、禁煙パトロールを開始しました。関心のある方や一緒にパトロールして下さる方は健康管理センターへご連絡ください。



道路の側溝に入れたタバコの吸い殻を取り除きに行きます。側溝網はかなり重たいので複数の男手が必要で、とても大変です。



体育館裏



南出入口

◆健康管理センターでは禁煙したい方へ、その方のレベルに応じた適切なアドバイスなど支援を行っています。例えば禁煙パッチを使用することで、日中は喫煙せずに済みます。是非、相談にいらしてください。一緒に禁煙目指しましょう！



ここは通学路です。住民から、怒りの声が寄せられています。喫煙・タバコのポイ捨ては止めましょう！



神経精神科学講座  
特任講師 山家 健仁

### 学校医からのご挨拶 🍁🍂🍎🍌

平成31年4月より学校医を拝命いたしました、神経精神科学講座の山家健仁と申します。日常臨床・研究においては主に児童・思春期における精神医学分野を担当しております。学校医の職務としては学生の精神保健を主に担当いたします。このたびの拝命は2度目となりますが、前回に比べ薬学部・看護学部が開設され大学の規模も大きくなり、矢巾新病院移転に伴う生活の変化、学生が習得する知識・技術の水準の高さなど学生の受けるストレスも大きくなると思われまます。

学生が心身共に健康で充実した学校生活を送り、それぞれの分野で活躍する医療人となるよう助力したいと思います。よろしくお願いいたします



黒川 恵子

### 健康管理センター新スタッフ紹介 🍁🍂🍎🍌

今年4月から総務課健康管理係に配属になりました黒川と申します。以前は、医師卒後臨床研修センター事務室におり、多くの方に大変お世話になりました。

今回、職種の違う方々と初めて机を並べて仕事をしてありますが、毎日様々なことを学ばせて頂いております。「さすが健康管理センター！」と思うような温かく親切なスタッフばかりですので、何かありましたらお気軽にご相談下さい。

学生・職員の皆様の健康保持のため、少しでもお力になれるよう陰からサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



TEL:019-651-5111(代表) 内線 5019/5022/5023(矢巾)  
ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

E-mail: [kenkou@j.iwate-med.ac.jp](mailto:kenkou@j.iwate-med.ac.jp)(健康管理センター代表)

[shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp) (相談室専用) [hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp) (保健師専用)

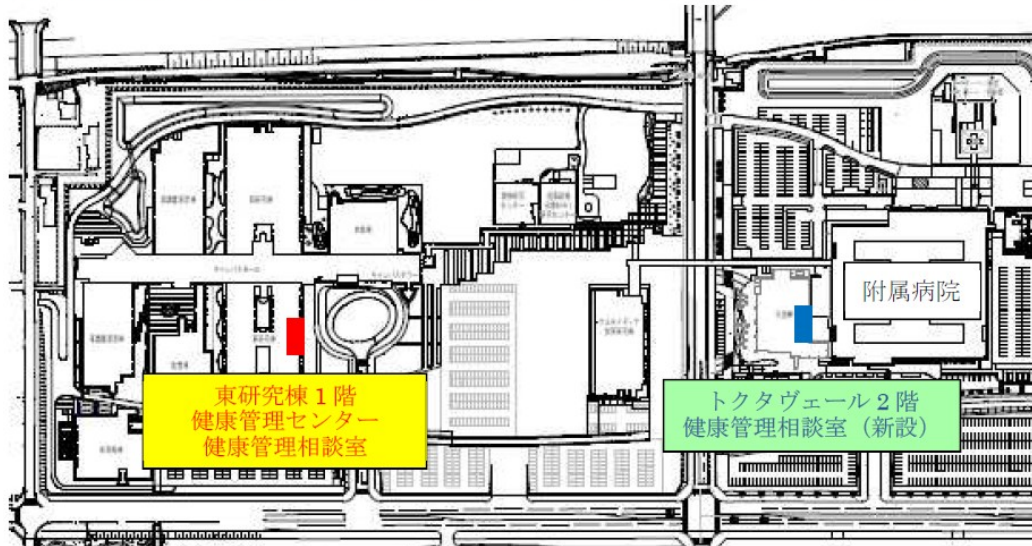
発行: 岩手医科大学 健康管理センター



## 健康管理センターは矢巾キャンパスのみの設置となります

### 場 所

附属病院の移転に伴いまして、健康管理センターは矢巾キャンパスに集約されます。



### 証明書の発行

定期健康診断、B型肝炎ワクチン接種、麻疹等の検査結果などの証明書の発行は以下のとおりです。

＜申請方法＞

- ① 健康管理センター（矢巾）に来室し、申請書に記入
  - ② E-mailで申請書を送付 [kenkou@j.iwate-med.ac.jp](mailto:kenkou@j.iwate-med.ac.jp)
  - ③ 附属病院（矢巾）2階検収センター・郵便宅配物受付にある健康管理センターの棚に申請書を提出
  - ④ 健康管理センター宛に学内便で送付
- ※申請書は健康管理センター、ホームページにあります。

＜受取方法＞

- ① 健康管理センター（矢巾）に来室
- ② 所属部署の郵便宅配物受けに棚入れ
- ③ 郵送（送付先を記入した返信用封筒に84円切手を貼付し、申請書と一緒に提出してください。）

### 相談室の新設と心理相談対応日等の変更について

附属病院の移転に伴い、トクタヴェール2階に新たに相談室（内線：4581）が設置されました。また、臨床心理士の心理相談対応日等が以下のとおり変更となりましたので、ご参照ください。なお、心理相談の詳細については、[shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp)にてお問い合わせ下さい。

		月	火	水	木	金	土
矢巾	トクタヴェール2階	畠山	畠山	畠山○	畠山	畠山	畠山●
	東研究棟1階	氏家	氏家○	氏家	氏家	氏家	氏家●
内丸	60周年記念館8階	1・3・5週	/	/	畠山	/	/
		2・4週	/	/	氏家	/	/

※原則開設時間は8：30-17：00、○の日は10：30-19：00、●の日は8：30-12：30（第1・4週）



## 禁煙パトロールを実施しています！

4月から、矢巾キャンパスは敷地内全面禁煙となり、タバコのポイ捨てや敷地内周辺での喫煙が懸念され、禁煙パトロールを開始しました。関心のある方や一緒にパトロールして下さる方は健康管理センターへご連絡ください。



◆健康管理センターでは禁煙したい方へ、その方のレベルに応じた適切なアドバイスなど支援を行っています。例えば禁煙パッチを使用することで、日中は喫煙せずに済みます。是非、相談にいらしてください。一緒に禁煙目指しましょう！



ここは通学路です。住民から、怒りの声が寄せられています。喫煙・タバコのポイ捨ては止めましょう！

### 健康管理センター新スタッフ紹介 🍁🍂🍁



黒川 恵子

今年4月から総務課健康管理係に配属になりました黒川と申します。以前は、医師卒業臨床研修センター事務室におり、多くの方に大変お世話になりました。

今回、職種の違う方々と初めて机を並べて仕事をしておりますが、毎日様々なことを学ばせて頂いております。「さすが健康管理センター！」と思うような温かく親切なスタッフばかりですので、何かありましたらお気軽にご相談下さい。

学生・職員の皆様の健康保持のため、少しでもお力になれるよう陰からサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



TEL:019-651-5111(代表) 内線 5019/5022(矢巾)

ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

E-mail: [kenkou@j.iwate-med.ac.jp](mailto:kenkou@j.iwate-med.ac.jp) (健康管理センター代表)

[shinirisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:shinirisoudan@j.iwate-med.ac.jp) (相談室専用) [hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp](mailto:hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp) (保健師専用)

発行: 岩手医科大学 健康管理センター



2) 掲示

31 健管第1号  
平成31年4月9日

# 禁煙パトロール 実施します

タバコのポイ捨てや喫煙所以外での喫煙は受動喫煙に繋がるのでやめましょう！

各学部長、学生部長・副部长、事務員、健康管理センタースタッフ等がパトロールします。

**NG!**

<パトロール>  
矢巾キャンパス内・外(敷地内～学生通学路～駅方面)

31 健管第2号 平成31年4月18日

# 麻疹・風しんに注意!!

各地で、麻疹患者の発症や風しんの流行が続いています。GWを控え患者の増加が懸念されます。**海外や流行地域・人混みへの外出時は充分気を付けてください。**

**■有効な予防法はワクチン接種です。**

- ・今までに2回接種していない方は接種することをお勧めします。
- ・妊娠中の方は生ワクチンの予防接種ができませんのでご注意ください。
- また、妊娠予定の方は麻疹・風しんのワクチン接種後2か月は避妊が必要です。

## 麻疹(はしか)とは?

- 感染力が非常に強く、時に肺炎や脳炎などの深刻な合併症を起こし、死亡する場合があります
- 感染経路: 空気感染、飛沫感染、接触感染
- 潜伏期: 約10日
- 症状: 発熱、咳、鼻水など風邪症状、コプリック斑(口の中の頬の粘膜に小さな白色の斑点)が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

## 風しん(三日ばしか)とは?

- 感染力が非常に強く、まれに脳炎などの合併症が発生することがあります。妊娠中の女性が発症すると目や耳、心臓等に障害を持つ子どもが出生することがあります。
- 感染経路: 飛沫感染(発疹の出る前後約1週間は人に感染させる可能性がある)
- 潜伏期: 約2～3週間
- 症状: 発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。

**■症状出現時は、病院へ電話で問い合わせの上、早めに受診してください。(感染拡大を防ぐ為、人の接触最小限を心がけて受診を)**

内丸健康管理センター (3816・3818)  
矢巾健康管理センター (5022・5019)

31 健管第3号  
平成31年4月27日

# 5月31日(金) 世界禁煙デー

## 禁煙週間 5月31日(金)～6月6日(木)

健康増進法の改正により7月に学校・病院・児童福祉施設等、行政機関が原則敷地内禁煙になります。

本学でも敷地内禁煙になりました。しかし、敷地内周辺で吸い殻が発見されている状況です。

まずは、禁煙デーに、禁煙しませんか?

R1 健管第4号  
令和1年6月27日

# 喫煙苦情あり

南側出入口付近での喫煙、喫煙マナー(タバコのポイ捨て)に対する苦情が県警本部、学事総務課、健康管理センターへ寄せられています。

医療を目指すものとして、資質を問われています。

医療を目指す者としての自覚を持ち、モラルに反しないよう、また、次のことに留意ください。

- (1) 「喫煙所」以外での喫煙はやめましょう
- (2) 歩きタバコや道路、他人の私有地で喫煙はやめましょう
- (3) 大学キャンパス敷地境界線付近での喫煙はやめましょう
- (4) 喫煙者は禁煙できるよう禁煙外来または禁煙支援できる所へ相談しましょう  
(健康管理センターは禁煙支援を実施しています)
- (5) 喫煙する際はマナーを守りましょう
- (6) 勧誘または集団喫煙はやめましょう

健康管理センター内丸(内3816)・矢巾(内5022)



## 「手足口病」に要注意!

現在、手足口病の患者数が昨年度の2倍位の勢いで流行しています。これから夏休みに入り、各地に行くかと思いますが、夏期には手足口病・ヘルパンギーナ・プール熱等様々な感染症が流行しますので、感染予防策を実施し、注意して過ごしましょう。



### 手足口病とは

「手足口病」は**口腔内や手足に水疱発疹**が出る感染症です。主に乳幼児に好発しますが**大人が感染すると症状が重くなる**ことがあるので注意が必要です。

### 予防策

感染経路は飛沫感染、接触感染、経口感染です。

**手洗いやうがいなど一般的な予防策をしっかりと行ないましょう。**



健康管理センター 内丸(3816)・矢巾(5022)

## 学生募集 禁煙パトロール

4月から大学では敷地内禁煙を実施していますが、大学周辺での喫煙に対し住民から苦情が頻繁に寄せられています。

大学として禁煙パトロールを実施中ですが、学生の皆さんからも**参加を募集**します。

パトロールに参加したい方は健康管理センターへご連絡ください。

(直接来室かお電話でもOKです!)

☎ 伊UV: 019-651-5110 (内5022)

医療を目指すものとして、資質を問われています。



健康管理センター (内5022)

# みんなで予防 インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」。

### 咳エチケット

マスク、ティッシュ・ハンカチ、そでなどで鼻と口をおおきましょう。



マメソウくん

ティッシュ・ハンカチ

マスク



【岩手県】わんこきょうだい(そぼっち)



コマメちゃん

### 手洗い

指先、指の間、親指、手首は特に注意して手洗いをしましょう。



インフルエンザに関する情報

今冬 インフルエンザ

バーコード読み取り機能付き携帯電話もしくはスマートフォンでご利用になれます。



「インフルエンザ予防啓発 コラボポスター」を加工して作成  
(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kakkaku-kansenshou01/keihatu/keihatu-collabo-apply.html>)



# 注意 新型コロナウイルス関連肺炎が国内で発生!

中華人民共和国湖北省武漢市において発生が報告された、新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者が国内でも確認されています。海外や流行地域・人混みへの外出時に注意が必要です。

## コロナウイルスとは?

発熱や上気道症状(咳や鼻水、のどの痛みなど)を引き起こします。コロナウイルスには様々な種類があり、一般の風邪から重度の肺炎まで幅広い呼吸器疾患を引き起こす原因となっています。潜伏期間は現在不明ですが、最大14日程度と考えられています。また、新型コロナウイルス感染症は**指定感染症**(強制入院、就業制限などの措置)として定められました。

## 予防法は?

マスクの着用や手洗い・うがいなど一般的な感染症対策を行いましょ。

## 症状出現時の対応は?

症状出現時は、病院へ電話で問い合わせの上、早めに受診してください。(感染拡大を防ぐため、人の接触を最小限にすることを心掛けて受診を)

## 「禁煙相談外来」の開設(お知らせ)

- ▶ 今まで禁煙したくとも困難(他病院受診・他薬店)であった状況を解消します。
- ▶ 本学附属病院、コスモス館1階調剤薬局(24h)で全て完結します。
- ▶ 希望者は下記のとおり、予約を入れてください。

対象: 本学学生および職員

実施日: 毎週月曜日午後(14時~16時30分受付)開設

場所: 附属病院2階 D外来

予約先: 健康管理センター

ダイヤル: 019(651)5110(内線5118・5019)

※前週の金曜日17時までの予約受付

学部・学年・出席番号・氏名・必ず連絡がとれる電話番号

所属・職名・氏名・必ず連絡がとれる電話番号等

必要物品: 保険証

留意事項: 当日は事前に附属病院の患者登録を行い、予約時間にD外来へお越しください。

料金: ①自由診療です(10割負担)

・初診料+処方料: 4000円+消費税

・再診料: 2000円+消費税

※紹介状は健康管理センターで無料作成し、選定療養費なしで安価設定になっています。

②院外処方です(薬代が別途発生します)



## 新型コロナウイルス感染症に関する 学生生活の注意事項

**健康観察** 毎日体温測定や症状確認などの健康観察を行いましょ

### 感染予防

- ◆石けんによる手洗い、手指消毒用アルコールによる消毒(他者との接触前後、食前、トイレの後等)
- ◆人混みや混雑した場所は避ける ◆十分な睡眠
- ◆室内でお互いの距離が十分確保できない状況で一定時間過ごさない

### 他の人にうつさないために

- ◆咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる)

## \*\*\*\*\* べからず5か条 \*\*\*\*\*

感染症のクラスター形成につながる可能性の高い行動です。これらの行動は極力避りましょ。

<p>何人までという基準はなく、少ないほどリスクが低下する</p> <p><b>集合</b></p>	<p>離れるほどリスクが低下</p> <p><b>密集</b></p>	<p>歌う、叫ぶ、討論する等</p> <p><b>飛沫を発生させること</b></p>
<p>他人(家族も含む)との共用物が多いほどリスクが増す</p> <p><b>共有</b></p> <p>生活用品、マイク、書類、書物や文房具等</p>	<p>接触が多いほどリスクが増す</p> <p><b>接触</b></p> <p>接触の前と後で手指衛生(手洗い・手指消毒)</p>	



# 喫煙苦情

1 健管第11号  
令和2年3月30日



喫煙に対する苦情が地域住民から寄せられています。  
キャンパス敷地付近での喫煙・車の中での喫煙・寮付近での喫煙・歩道での喫煙・ポイ捨てをお止めください。  
住民が常に監視し、警察署へ通報しています。ポイ捨てから火事があった場合、損害賠償責任が問われる場合があります。【火災・失火責任法（民法上の不法行為の特則）民法415条】  
喫煙マナーを守りましょう。

健康管理センター

V 平成 31 年度／令和元年度  
学会・研修会

## VI 平成31年度／令和元年度学会・研修会

### 1. 学会・研修会等参加状況

開催月日	件名	出席者名	会場
5/18～5/20	日本学生相談学会第37回大会・ ワークショップ	畠山 秀樹	大妻女子大学
7/18	岩手産業保健総合支援センター事業 衛生管理者、衛生推進者、産業看護職、労務管理 担当者、事業主等のための産業看護職等研修 働きやすい職場環境づくり	青木 雅美	アイーナ 703 会議室
7/26～27	第78回日本産業衛生学会東北地方会	藤井 ヌイ子	一般財団法人 岩手教育会館
8/30～31	日本産業精神保健学会第26回大会	氏家 真梨子	東海大学 高輪キャンパス
8/7	令和元年度岩手県立大学看護実践研究センター研修事業 脳卒中等生活習慣病予防保健指導者研修会 (1回目/2回コース)	藤井 ヌイ子	岩手県立大学 アイーナ・キャンパス 学習室1
9/13	令和元年度岩手県立大学看護実践研究センター研修事業 脳卒中等生活習慣病予防保健指導者研修会 (2回目/2回コース)	藤井 ヌイ子	岩手県立大学 アイーナ・キャンパス 学習室1
9/12～14	第29回日本産業衛生学会 全国協議会 (9/14のみ参加)	名郷根 郁子 藤井 ヌイ子	仙台国際センター
10/9～10	第57回全国大学保健管理研究集会	名郷根 郁子	札幌コンベンションセンター
2/20	公益財団法人 岩手県対がん協会 がん検診担当者会議	小原 真綾 青木 雅美	ホテルメトロポリタン 盛岡本館 4階

# 医 薬

岩手医科大学健康管理センター年報

第5号

令和3年3月31日 発行

発行編集者／岩手医科大学健康管理センター

〒028-3694

岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

TEL (019) 651-5111